

新しい奥州市地域福祉計画づくりのための  
地域福祉に関するアンケート調査集計結果

2026年3月

奥州市

## 目次

I. 調査概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の対象.....	1
3. 調査の方法.....	1
4. 調査期間.....	1
5. 回収状況.....	1
6. 集計作業の注記.....	2
7. アンケート調査票の設問へのご意見について .....	2
II. 集計結果.....	3
0. 結果の要旨.....	3
1. 回答者の属性.....	11
2. お住まいの地区（ご近所）について .....	14
3. ボランティア活動について .....	25
4. 暮らしの中の不安や相談について .....	31
5. 防災活動について.....	38
6. だれもが安心して暮らせる地域（共生社会）であるために .....	42
III. 巻末資料.....	52
1. アンケート調査ご協力のお願い文書 .....	52
2. アンケート調査票.....	53

# I. 調査概要

## 1. 調査の目的

次期奥州市地域福祉計画策定にあたり、市民のみなさんの、福祉サービス等に関するニーズや地域課題と感じている事等を把握し、より良い計画とすることを目的に実施しました。

## 2. 調査の対象

18歳以上の市民3,000人を対象としました。

## 3. 調査の方法

市民3,000人に調査票を郵送し、同封の返信用封筒による紙媒体での回答と、オンライン上での回答の選択制としました。

調査項目と設問については、巻末に調査票を添付しましたので、そちらを参照下さい。

## 4. 調査期間

令和7年7月1日までに発送し、7月15日を〆切とした上で、郵送による回答は8月1日到着分までとしました。

## 5. 回収状況

回収状況及び回収率は以下の通りです。

### 回収状況・回収率

送付件数	3,000件	
郵送による回収件数	949件	
オンラインによる回収件数	261件	
無効票	2件	・「当人は施設入所のため回答出来ない」と家族から返送 ・オンライン回答で2回送信1件あり
有効回収件数	1,208件	
回収率	40.3%	

## 6. 集計作業の注記

回収したデータは、以下の処理を行っています。

- 単回答または、選択肢の回答数を設定している設問（「あてはまるもの3つまで」など）において、設定している数よりも多く選択している回答は、「無効票」としました。
- 統計処理では、無効回答データそのものを最初に対象外とし、全て有効のデータのみで集計を行うことがあります。今回は設問毎に無効票の処理を行い、市民の声を最大限拾う形で集計を行っています。
- 設問毎に無効票の処理を行ったため、設問毎に、サンプル数（n値）が異なっています。
- 下表の設問において、「特に感じていることはない」や「参加したことはない」などの選択肢を選び、且つ、他の選択肢も選んでいる場合、矛盾が生じる結果となるため、「～ある」と解釈し、傾向をわかりやすくするため、他の選択肢を活かしました。その際、「～ない」との回答は反映していません。

問7	⑧特に感じていることはない +他の選択ある場合、⑧削除
問9	⑫参加したことがない +他の選択ある場合、⑫削除
問11	⑩できることはない +他の選択ある場合、⑩削除
問13	⑧参加したことがない +他の選択ある場合、⑧削除
問16	⑪相談できる人や機関はない +他の選択ある場合、⑪削除
問21	⑥心配なことはとくにない +他の選択ある場合、⑥削除
問22	⑧できることは特にない +他の選択ある場合、⑧削除
問26	⑫特にない +他の選択ある場合、⑫削除

- 問10及び問14は、問9及び問13において、「参加したことがない」と回答した方のデータのみを対象として集計をしています（「参加したことがない」と回答していない方で、選択肢を選んでいる方がいますが、そのデータは反映していません）。

## 7. アンケート調査票の設問へのご意見について

- 複数回答の設問に“3つまで”など選択数を限定している設問に対し、「どれも大事なのになぜ3つ？」のような記述が見られました。全てを選ぶ可能性の高い設問において、重要度（優先度）を際立たせた意図から、限定しています。
- 問23の設問文について、「『障がいがあってもなくても～』との表現が失礼だ。」とのご意見がありました。「障がいがある（ない）」という表現は、岩手県の「障がいのある人もない人も共に学び共に生きる岩手県づくり条例」（以下、共生き条例）より採用しています。岩手県の共生き条例の逐条解説には、本条例における対象範囲を広く捉えていること、また、パブリックコメントに寄せられた意見なども考慮し「障がいのある人」と表記することにした旨の記載があります。以上のことから、失礼には当たらないと判断したものです。

## II. 集計結果

### 0. 結果の要旨

---

#### (1) 回答者の傾向

##### 【問1】～【問5】

- 性別では、男性が41.4%、女性が58.0%、その他が0.2%、無回答が0.3%です。
- 世代では、割合の高い順に、70代(20.5%)、60代(19.0%)、80歳以上(16.6%)、40代(13.2%)、50代(13.0%)、30代(9.9%)、20代(6.0%)、10代(1.7%)です。18歳以上の市民を対象としているため、10代の割合は低くなっています。20代の回答率が低い傾向がみられました。
- 居住地域別では、水沢が31.3%、江刺22.3%、前沢18.1%、胆沢16.9%、衣川11.3%です。
- 市内在住年数では、7割が30年以上在住と回答しています。
- 家族構成では、二世帯世帯が42.6%と最も割合が高く、次いで夫婦のみなどの一世帯世帯(24.2%)、三世帯世帯(18.4%)、一人暮らし(11.9%)でした。また、四世代世帯もみられています。その他では、夫婦と孫世帯や、ルームシェア等の記述があります。

#### (2) お住まいの地区(ご近所)について

##### 【問6】暮らしやすさ

- 「とても暮らしやすい」(13.9%)、と「まあまあ暮らしやすい」(55.5%)を合わせると、全体の7割近くは「暮らしやすい」と感じています。「暮らしにくい」(3.1%)、「どちらかという暮らしにくい」(8.4%)と合わせて11.5%で、「暮らしにくい」と感じている割合は1割程度でした。

##### 【問7】お住まいの地区の良いと感じていること

- お住まいの地区の良いと感じていることでは、約半数が「地区の住民同士のあいさつや声かけがある」(52.2%)、「おだやかな雰囲気を保っている」(49.8%)と回答しています。「特に感じていることはない」との回答は13.9%と1割程度みられます。
- その他の記述には、「学校が近い」(水沢・前沢)、「大きな災害に遭いにくい。川も遠いし、山も遠いので」(水沢)、「自然がいっぱい」(前沢)、「とにかく自然が豊かすぎるくらい豊か」(衣川)のほか、「親の介護時、ご近所さんにサポートをしてもらえた」(水沢)との記述がありました。しかし、買い物や通院(病院)、銀行などへ行くのが不便という記述が目立っています。

##### 【問8】ご近所との付き合い

- ご近所との付き合いでは、「顔を合わせれば挨拶をする程度」が56.5%、次いで「世間話や立ち話をする」が24.8%です。「ほとんど付き合いはない」との回答が9.3%と1割近くになっています。
- その他の記述では、「相手によりお付き合いしたり、そうでなかったり。」(水沢・60歳代)や「お互い高齢者世帯なので協力している。」(衣川・60歳代)などの記述がみられます。

#### 【問9・問10】地域の活動への参加

- 地域の活動への参加状況では、「清掃活動」が最も割合が高く60.5%、次いで「資源回収（リサイクル活動）」（49.3%）、「運動会、スポーツ大会」（46.4%）、「自治会・町内会行事」（45.5%）です。
- 「参加したことがない」との回答が14.6%みられました。参加していない理由では、「仕事や家事で忙しいから」が41.5%、「一緒に暮らしている家族が参加しているから」が27.3%、「体力的に参加が難しいから」（19.9%）と上位を占めています。「地域に関わりたくないから」との回答が13.1%と1割程度存在するほか、「活動内容や参加する方法がわからないから」との回答も13.6%と1割程度となっています。

#### 【問11】困っている人がいるときできること

- 身近に困っている人がいるときできることでは、「見守りや声かけ」が56.6%と半数を超えています。次に割合が高かった項目は「話し相手」で41.9%、「災害などの緊急時の手助け」が32.7%です。「できることはない」との回答が11.7%と1割みられています。その他の記述には「自分のことで精一杯」、「プライベートなことなので、要望があれば選択肢の全てやれる」や「どの程度困っているかによる」、「思いはあるが、高齢、身体的事情でできない」などの記述がありました。

#### 【問12】安心して暮らすための活動

- 地域でみんなが安心して暮らすためにあったら良いと思う活動では、「声かけやあいさつ」が53.2%と半数を超えています。次いで「見守りや安否確認」（43.6%）、「災害時の避難誘導や助け合い等の事前準備」（27.4%）、「防犯の取り組み」（25.2%）でした。その他には、「インフラ整備、小児科（産科）の常設」、「買い物する場所が遠い。みんなが集える場所がない。」、「小学生の児童センターに高齢ではあるが元気な方がお手伝いに行くなどの交流があると良い。」、「車を運転できない人に対しての交通の便が良い。」などのご意見が寄せられました。

### （3）ボランティア活動について

#### 【問13・問14】参加したことがある活動

- 今までに参加したことがあるボランティア活動では、「募金活動」が高い割合を占め、募金活動全て合わせると7割を超えます。募金以外では「高齢者に関する活動」（17.9%）、「スポーツ・文化に関する活動」（17.4%）、「復興支援に関する活動」（12.8%）などの回答割合が高くなっていますが、2割に達していません。その他の記述内容には、「ゴミ拾いなどの清掃活動」、「市道の草刈り」、「スクールガード」、「献血」などがあります。
- また、「参加したことはない」との回答は25.0%で、4人に1人の割合です。理由として、「仕事や家事で忙しいから」（47.8%）、「体力的に参加が難しいから」（24.9%）、「活動内容や参加する方法がわからないから」（21.3%）、「興味・関心がないから」（19.6%）との回答が上位を占めています。

#### 【問15】活動への参加意向

- ボランティア活動への意向については、「参加したい気持ちはあるが、現状参加できる状況にはない。」

との回答が25.0%で、4人に1人の割合となっています。次いで、「物資の寄付や募金等の形で参加したいと思う」(24.6%)、「災害時などの非常事態に、できることがあれば参加したいと思う」(21.5%)となっています。

#### (4) 暮らしの中の不安や相談について

##### 【問 16】 困りごとの相談先

- 日常生活の中での困りごとを誰に相談しているかでは、8割(80.2%)が「家族や親類」と回答しています。次いで「友だちや知り合い」(47.9%)、「職場の上司や仲間」(16.0%)となっています。
- 「相談できる人や機関はない」と回答した人が4.2%ありました。
- その他の回答では、20代30代では「SNS」や「ネットの専用アプリ」、60代では「弁護士(市の弁護士相談)」、50代以上での各世代で「困りごとはない」や「相談したことはない」などの記述がみられています。

##### 【問 17】 情報の入手方法

- 福祉関連の情報などの入手方法では、回答割合が高い順に、「市の広報紙」(63.3%)、「新聞、テレビ、ラジオなど」(30.9%)、「社会福祉協議会などの広報紙」(27.6%)、「インターネットやSNS」(23.4%)となっています。その他の回答には、「知識を得ていない」など、情報入手を意識していない回答のほか、「通院先の病院や市役所に行った際に話されてから知ることもある」、「老人クラブ」などの記述がありました。

##### 【問 18】 民生委員・児童委員の仕事

- 民生委員・児童委員の仕事を知っているかでは、「知っている」が48.6%、「名前だけは聞いた事があるが仕事の内容は知らない」が39.3%で、「知らない」との回答が11.0%みられています。

##### 【問 19】 担当民生委員・児童委員

- 地区の担当民生委員・児童委員を知っているかという問いでは、「知っている」が48.2%、「知らない」が50.3%とほぼ半々ですが、若干「知らない」との回答割合が高くなっています。

##### 【問 20】 安心して暮らしていくために重要だと思うこと

- 安心して暮らしていくために重要だと思うことでは、「困ったときに相談できる相手や場所がある」との回答が55.8%と5割を超えました。次いで「隣近所あいさつを交わし、普段からお互いを知ってもらえている」(38.2%)、「秩序が保たれている(ルールが守られている)」(36.8%)、「交通の便が良い」(27.8%)となっています。
- その他の記述には、「若者が気軽に集まれる場所がある」、「子育てを相談したり、子どもが遊んだりできる場所」、「医療施設の充実」、「相談して解決に至らない場合の相談場所」、「防犯対策」、「害獣対策」などがみられました。

## (5) 防災活動について

### 【問 21】 災害時に心配なこと

- 災害が発生したとき心配なことでは、半数以上の 55.0%で「避難が必要かの判断ができるか不安」と回答しています。また、約4人に1人の割合で「避難が必要なとき、どこに避難すれば良いかわからない」と回答しています。その他の内容には、「避難先での生活が不安」、「子どもだけで家にいるときに発生した場合」、「ここにいるという家族を置いていけない」、「避難より自宅の被害が心配（毎回被害受けている）」、「周知方法、高齢者には耳から入る情報が必要」など多岐にわたっています。

### 【問 22】 防災減災のため日頃からできること

- 防災減災のために、日頃からできることでは、回答割合が高い順に、「非常用袋の準備（食料等のローリングストック含む）」(57.7%)、「防災訓練、避難訓練への参加」(41.0%)、「地域での防災マップづくり」(19.7%)、「災害時要援護者との、顔の見える関係づくり」(19.0%)となっています。また、「わからない」との回答が 11.3%と 1 割程度存在しています。その他の記述回答では、「いざ、被害が発生した場合、パニックになってできるのかの方が心配」、「身近なところの点検と補修」、「避難場所の確認」などがありました。

## (6) だれもが安心して暮らせる地域（共生社会）であるために

### 【問 23】 安心して暮らせる地域に向けた取り組み

- 誰もが安心して暮らせる地域であるために必要と思う取り組みについて、回答割合が高かった項目は、「お互いを理解しようとするコミュニケーションの推進」(47.2%)、「困ったときに気軽に相談できる場の設置」(45.3%)、「ご近所での助け合いの仕組みづくり」(36.1%)となっており、コミュニケーションや支え合いが重視されている傾向がみられています。その他の記述では、「土日祝関係なく子どもが遊べる屋内施設」、「障がいのある人への合理的配慮や、家族への支援、社会参加へのサポート」等のほか、一部には、人との関わりに消極的な意見、特定の人を排除するような意見がありました。

### 【問 24】 福祉教育の取り組み

- 福祉教育について、大切だと思う取り組みをたずねたところ、「幼稚園、保育園、小中学校での、障がいの有無で分離しない、一緒に学びつ環境の整備」との回答が 51.3%と半数を超えています。次いで「世代間交流の機会の提供」(39.3%)、「自治会などの地域活動への参加」(36.4%)となっています。その他には「障がい児と健常者と一緒に教育するのはやめて欲しい。不幸になる子どもが増える。」、「分離するしないではなく、選ぶ権利を尊重できる仕組み」などの意見が寄せられています。

### 【問 25】 福祉分野で力を入れるべき取り組み

- 市が福祉分野で力を入れるべき取り組みでは、「地域での見守り・支え合いへの支援」(38.6%)、「身近な相談窓口の充実」(37.6%)、「子育て支援の充実」(29.4%)、「様々な理由で、生活に困難を抱えている人への支援」(27.3%)との回答割合が高くなっています。その他の記述回答では、「介護者への支援や相談窓口の充実」、「子どもが安心して暮らせる地域」、「車の免許返納後の交通手段の確保」、「実態に即した災害時の避難体制づくり」等多岐にわたっています。

#### 【問 26】保健分野で力を入れるべき取り組み

- 市が保健分野で力を入れるべき取り組みでは、「認知機能低下の早期発見の取り組み」（45.8%）、「妊娠期からの切れ目のない子育て支援」（39.0%）、「こころの健康講座等による啓発活動」（36.1%）が上位を占めました。その他では、「若い世代が安心して子どもを産める環境作り」、「薬物乱用防止教育」、「ギャンブルなどの依存症対策、および相談窓口」、「認知機能低下の早期発見を健康診断の項目に入れて欲しい」等の記述がみられています。

#### 【問 27】ご意見やアイデアなどの自由記述

- 自由記述欄への記述は、全回答件数のうち 274 件にみられ、記述率は 22.7%でした。
- 自由記述内容の傾向を世代別にみたところ、以下のような傾向がみられました。

#### 10代

- 「小児科や産婦人科の充実」を求めるご意見、「屋内で遊べる施設、子どもも大人も遊べる場所の充実」など、子育てに関する声が寄せられたほか、「一人暮らし高齢者や子育て家庭の行きやすい場所」、「住宅地や駅前などの街灯整備」、「バスと電車の時間を合わせてほしい」などがみられています。

#### 20代

- 「車イスの方が安全に歩道を歩けるように」や「多子家庭にもう少し援助を」など、様々な立場の市民への支援や整備に意見が寄せられていますが、「子供が遊べるような楽しめる施設」、「子育て支援金、シングルマザーには住宅手当」、「高齢者支援も大事だが、まずは子どもを産み育てる世代の支援が優先」、「給食費の無償化」、「分娩施設の新設、小児科を増やしてほしい」など、子育て支援の充実を求める声が多く寄せられています。また、「子ども食堂などの交流」、「高齢者の為の軽い運動や、雑談の場を作る」など交流の場の必要性、「就労支援や賃金格差是正、低所得者への持続的な家賃補助など」と市民の生活基盤へのサポートのほか、福祉教育に関しては「小学校で月 1 回程度福祉について学ぶ時間を設ける」とのご意見もありました。多様性を尊重するまちづくりとしては「障害のある方の自己表現のイベント、アート作品の販売」、「SOGI<sup>1</sup>知識の啓発と当事者やそのアライ<sup>2</sup>が生活しやすい環境づくり」などの具体的な提案がみられています。ほかに、「おうしゅうたろうを巻き込んだイベントやボランティア活動」への期待の声もありました。

#### 30代

- 「日・祝日も利用できる子どもの遊び場、支援センター」や「出産を含めた子育てのしやすい市になるような取組」、「子供でも大人でも利用できる室内のフリースペースの場所があれば良い」など、子育て世代の環境整備等の意見が寄せられています。また、「市役所や総合支所で、安心して相談にのってほし

<sup>1</sup> SOGI（ソジまたはソギ）とは、Sexual Orientation and Gender Identity の略で、性的指向と性自認という意味です。性的指向とは、性的な魅力をどのような相手に感じるか、感じないかで、性自認とは、自分自身の性別をどのように認識しているかということです。どちらも、すべての人が持っています。LGBTQ を包括する概念であり、一人ひとりの人権を守るための概念です。

<sup>2</sup> アライとは、SOGI について理解し、行動する人のことで、「仲間・同盟」などの意味を持つ英語の「Ally」が語源となっています。

い、「電話だけでなく SNS（メッセージ、LINE など）を通じての心の相談」、「不安な時に相談できる窓口があれば良い」や「学校に、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーに加え、ペアレントメンターをいれてほしい」と、相談窓口の充実を求めています。高齢者関連では「高齢者の通所施設の拡充」、障がい関連では、「障害を持つ娘の親亡き後が心配、障害者、高齢者が安心して暮らせる場所（施設等）も増やしてほしい」、「障害者の障害者雇用、就労支援 A 型や在宅でできる仕事をふやしてほしい」などの声がみられます。そのほか、「公共交通手段の充実」、「草がおい茂っているところ、街灯が切れているところへの対応」を求める声、中には「市がこういった活動をしているのか分からない」とのご意見もありました。

#### 40代

- 「隣近所のつきあいが希薄になってきているので、それを補う市の仕組みが必要」や「コミュニティ、サークルなどを増やし楽しむ場を増やす」、「お互いを信用出来るコミュニケーションが大事（移住者、海外の人など）」、「ふれあい講座キムチ作り教室に初めて参加、楽しみ以外にも顔の見える関係ができて良い」など、対面での人とのコミュニケーションの場の重要性に触れる記述がみられています。子育て関連では、「特に子育て世代、日中、平日休日問わず、気軽に集まれる場所があると良い」や「子どもの遊び場がない（アスレチックなど）」のほか「子供の虐待への対応、ヤングケアラーへの支援」についてのご意見も頂いています。また、「奥州市でのさまざまな取り組みや活動の情報が入ってこない（病院や遊びの場、子育て世代の交流など）」など、30代でもみられた、市の取組の情報発信についてご意見があります。それ以外にも「負担の軽減のため、民生委員は行政区に1人とした方が良い」や「ゴミの分別等を守ってほしい（県外から来ている人、外国の方々など）」、「フードバンクの窓口を増やす及び周知」、「頼もしい専門家がたくさんいるので、いろいろな形で情報発信して頂けたら心強い」など多岐にわたって記述がみられました。個別のご意見では、「透析通院時の、お迎えと、帰りの送迎バスがあった方がいい」、「前沢地区に防災無線がない」などの声が寄せられています。

#### 50代

- 「相談窓口や防災や防犯の連絡先などの一覧表など、全住民に配付してほしい」や「ネットで色々相談できると助かります」など、いざという時の連絡先一覧表の要望や相談ツールの充実などの声がみられます。関連して、介護に関する要望として、「私のように介護未経験でも上手に質問できるチャート紙を作成してはいかがでしょうか」、「高齢の親の介護のために都会から U ターンや単身帰省している世代への支援」と介護を担う家族からの声、「高齢者の入所施設の拡充、人材確保、助成金等の充実」、「高齢者の居場所、生きがいとなる場があればいいと思う」など、施設や居場所への声がありました。また、「文化や宗教の異なる人や世代のギャップによる考え方の違いを理解しあうこと」や「みんなで福祉を支える世代間の交流、人と人とを繋ぐイベント」など、相互理解への取組へのご意見、「沈黙している苦しんでいる人や助けてほしい人に対する共感力のある人による支援」、「実際に困っている人にヒアリングして実状に合った対応をしてほしい」、「孤立させないための対策を多方面から考える力が必要」など、ニーズに合ったキメの細やかな支援体制を求める内容も見受けられます。そのほか、「公共交通の便を良くしてほしい、移手段のない人の支援、ハートバスの利便性向上」や「防災用スピーカーの設置」などのご意見もありました。

## 60代

- 「一人暮らし高齢者の支援、住宅周辺の草刈り、環境の維持」、「独居高齢者、高齢者 2 人世帯の安否確認」、「衣川地区で施行された高齢者見守りシステムはどうなったのか」、「高齢者のひきこもり」、「民生委員さんの見守りやケアマネージャーさんの知識、適切な助言が大切」など、高齢者支援の声が多くみられていますが、「健康寿命を伸ばすための生活方法の指導」や「地域で週 1 度でも何らかの集まりを行い高齢者に周知する」など、健康を保ち、コミュニティに参加していくイメージを持っていることがうかがえます。コミュニティへの参加では、「買物に合わせて外出しながら『集いの場』に参加できる企画などがあると良い」と、集いの場のあり方について希望を語っています。さらに、「できるだけ一人暮らしを続けたい、でも不安はあるという人への支援」や「一人暮らしの段階で、定期的な見守り体制（一日一回の訪問を一日数回にするとより安心）」、「首都圏へ出ている子ども達が戻って、近くにいてくれること」など、一人暮らしや高齢者世帯が安心して暮らせる支援や体制に関するご意見もありました。子育て世代や、若者に関しては、「ひとつの施設で子供も遊ぶ事が出来、親や他の大人もくつろいだりできる場所が身近にあれば良い」、「若い世代は『希望』、ヤングケアラーなどへの支援が大切だ」、「中学生、高校生の教育に、高齢者、障害者への気配り配慮が不足している」などの声がみられます。また、移動手段に関して、「交通手段の拡充」、「コミュニティバスなどの移動支援の拡充」などのご意見が寄せられました。そのほか、「福祉も大事ですが、地域を支えている企業や商店についても、もっと大事に考えてほしい」、「『安心な生活』の定義を明確にし、何の為に、誰の為に計画か、はっきりさせることが重要」、「分からないことに対する市役所窓口での丁寧な対応」などのご意見が寄せられました。

## 70代

- 70代では、“集いの場”や“交流”、“社会参加”へのご意見が多く寄せられています。「年をとっても社会参加は大切と思っている、積極的に声がけしたい」、「老若男女が、いこえる様、公園、遊び場、足湯等の、安価で集まりやすい施設があれば良い」、「ふらっと立ち寄れる場所の充実、廃校を利用し、食事を作り提供、教育講座やスポーツを行う」、「市の中心部だけでなく、山間部にもいこいの場を考えていただきたい」、「コロナ後、加齢とともに交統も薄れてしまったので、小規模で集まれる行事は何かありませんか」、「町内の中に“空き家”が多く、皆の集まれる場所として利用できればと思う」などです。しかし、「見守り、声がけ、男性の一人暮らしへの声がけ（できる範囲で手を貸したいが、拒否される）」、「以前、近くに住んでいた高齢者の方が孤独死しました」との記述もみられます。声がけに関しては「もう少し身近で、具体的に話しかけてもらおうと親近感がわく」、「今更ながら、『挨拶』のきちんとできる地域づくり」などのご意見がありました。また、買い物や外出に関して「買い物難民になっており、近くにミニスーパーがあると良い」、「免許証返納後の交通手段に不安がある」、「高齢化に対応した外出支援の充実が必要」、「地域内のコミュニティバスをぜひ作って欲しい」などの声、防災関連では「防災無線の再整備」との声が寄せられています。

## 80歳以上

- 80歳以上でも70代でみられた、“集いの場”や“交流”への要望に加え、“健康維持”に関するご意見がみられます。「敬老会を前の通り実施できないか」、「ふれあいサロン、軽いスポーツ食事会、ゲームも良い、いつでも参加する」、「何年か前までは一人暮らしの集まりがあったが、今はなくなり、再開の予定もない」、「少額で定期的に行ける、または定期的にあるスポーツ施設があると良い」、「介護の一手手前で運動をし、介護受けずとも自分で動ける身体作りの場が欲しい」などです。さらに、「高齢者の集

いやサロン活動などへの、歩けない人のための車の移動の手配がほしい」、「車の免許証返納のため、家の前迄来る巡回バスか、タクシー割引券とかがあると助かります」、「タクシーも呼んでもすぐ来てくれない。ライドシェアを活用できる環境を整えて欲しい」と、移動支援についての声も寄せられています。安心して暮らせる地域には「定期的に民生委員とか区長とかが点検するとか、声掛けでもしてくれたら心強い」、「ふれあいを大切に、声をかけあったり、町内会に参加したり、孤独にならないようにすると良い」とのご意見がありました。そのほか、「少ない年金で入所出来る施設を」、「草を割安で刈ってくれるシステムがあると助かります」、「冬時期の除雪の際、家の入口に雪が凄く除雪かたまり出られなくなる」などの記述がみられています。また、「一人よがりにならず、皆と協力して納得のいくまで話し合い、意見を出し合う尊重しあう事が大事」、「もう一度、市と市民が一丸となり、原点に戻って論じるべきと思う」、「市長等関係者のフリートーキング」、「後藤新平先生の「都市計画案」を原点とし、何かを見出し、まちづくりを見直す必要がある」と、まちづくりのあり方についてのご意見もありました。

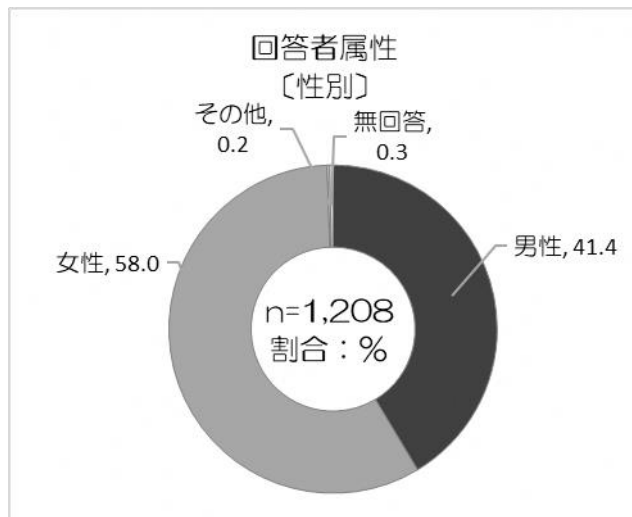
---

# 1. 回答者の属性

問1. あなたの性別を教えてください。【〇は1つだけ】

- ① 男性      ② 女性      ③ その他

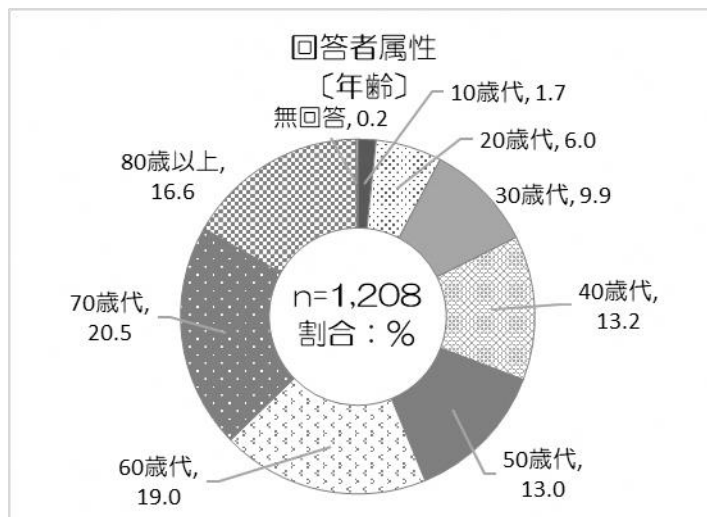
n=1,208		
選択肢	件数 (件)	割合 (%)
男性	500	41.4
女性	701	58.0
その他	3	0.2
無回答	4	0.3
計	1,208	100.0



問2. あなたの年齢 (年代) を教えてください。【〇は1つだけ】

- ① 10歳代      ② 20歳代      ③ 30歳代      ④ 40歳代      ⑤ 50歳代  
⑥ 60歳代      ⑦ 70歳代      ⑧ 80歳以上

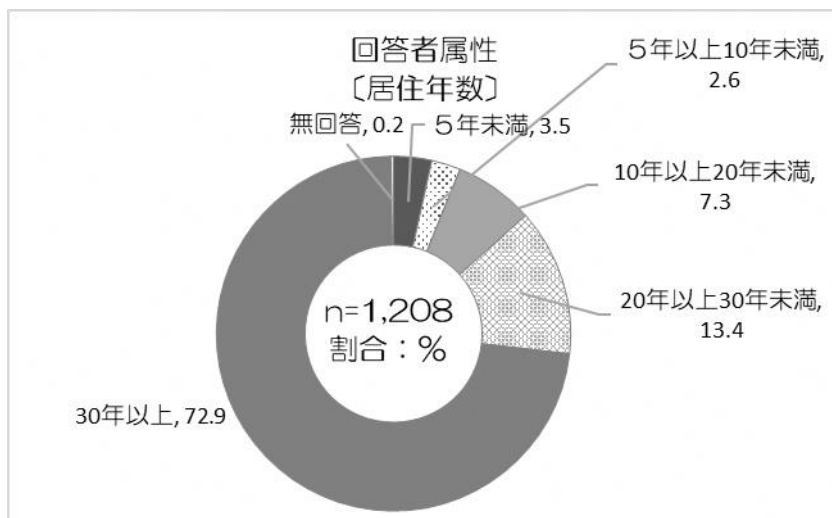
n=1,208		
選択肢	件数 (件)	割合 (%)
10歳代	20	1.7
20歳代	73	6.0
30歳代	120	9.9
40歳代	159	13.2
50歳代	157	13.0
60歳代	229	19.0
70歳代	248	20.5
80歳以上	200	16.6
無回答	2	0.2
計	1,208	100.0



問3. あなたは、奥州市にお住まいになって、通算して何年くらいですか。【〇は1つだけ】

- ① 5年未満      ② 5年以上10年未満      ③ 10年以上20年未満  
 ④ 20年以上30年未満      ⑤ 30年以上

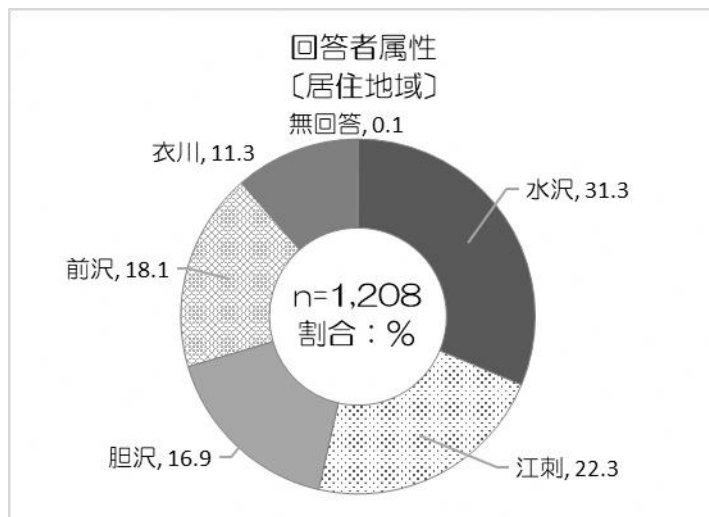
n=1,208		
選択肢	件数(件)	割合(%)
5年未満	42	3.5
5年以上10年未満	32	2.6
10年以上20年未満	88	7.3
20年以上30年未満	162	13.4
30年以上	881	72.9
無回答	3	0.2
計	1,208	100.0



問4. あなたのお住まいの地域を教えてください。【〇は1つだけ】

- ① 水沢      ② 江刺      ③ 胆沢      ④ 前沢      ⑤ 衣川

n=1,208		
選択肢	件数(件)	割合(%)
水沢	378	31.3
江刺	269	22.3
胆沢	204	16.9
前沢	219	18.1
衣川	137	11.3
無回答	1	0.1
計	1,208	100.0



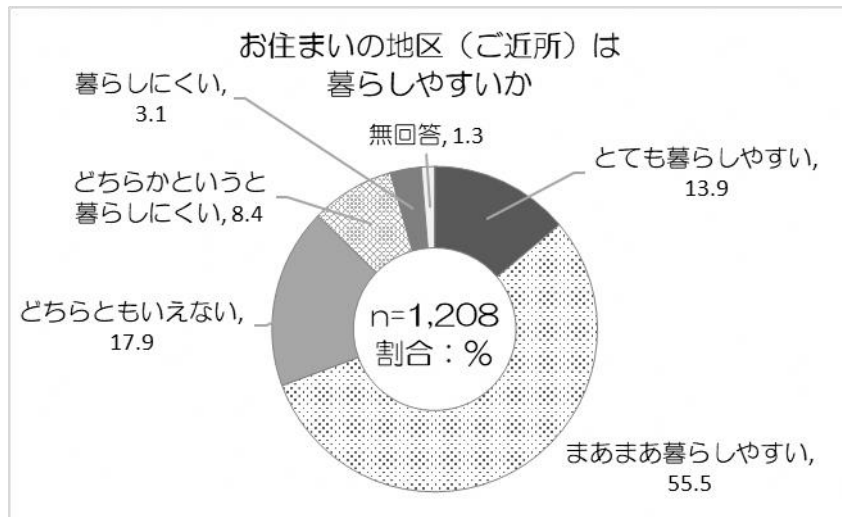


## 2. お住まいの地区（ご近所）について

問6. 今お住まいの地区（ご近所）は、暮らしやすい地区だと思いますか。【〇は1つだけ】

- ① とても暮らしやすい      ② まあまあ暮らしやすい      ③ どちらともいえない  
 ④ どちらかという暮らしにくい      ⑤ 暮らしにくい

	n=1,208	
選択肢	件数（件）	割合（%）
とても暮らしやすい	168	13.9
まあまあ暮らしやすい	670	55.5
どちらともいえない	216	17.9
どちらかという暮らしにくい	101	8.4
暮らしにくい	37	3.1
無回答	16	1.3
計	1,208	100.0

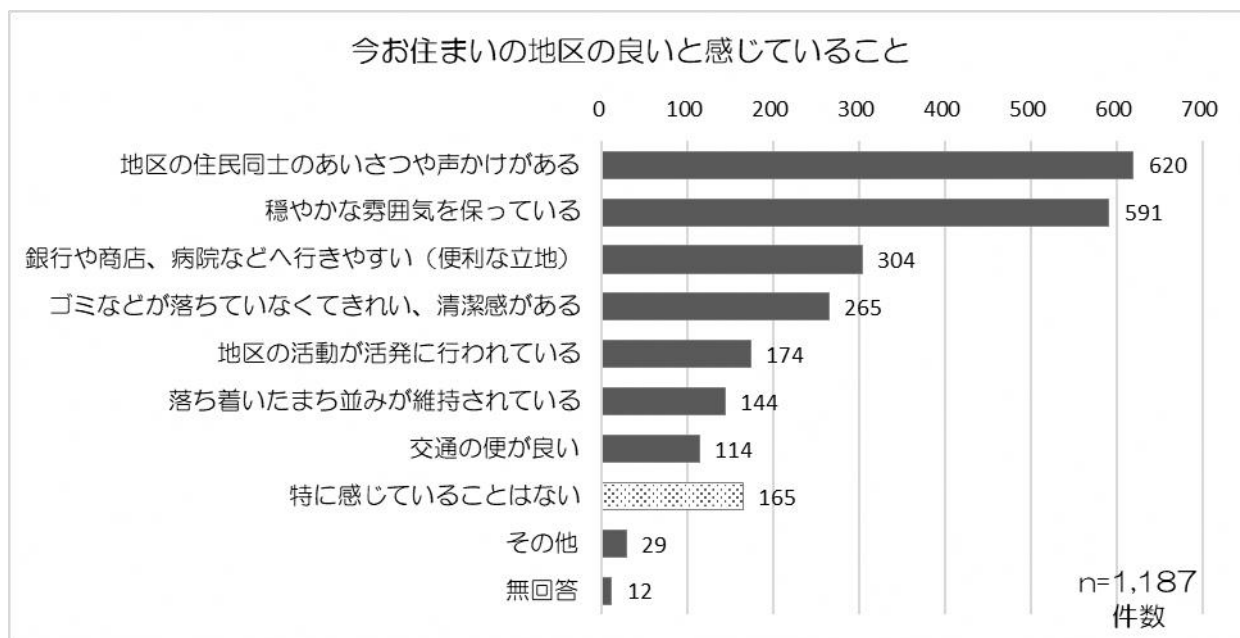


問7. 今お住まいの地区（ご近所）の良いと感じていることを教えてください。【〇は3つまで】

- ① 地区の住民同士のあいさつや声かけがある
- ② 地区の活動が活発に行われている
- ③ 穏やかな雰囲気を保っている
- ④ ゴミなどが落ちていなくてきれい、清潔感がある
- ⑤ 落ち着いたまち並みが維持されている
- ⑥ 銀行や商店、病院などへ行きやすい（便利な立地）
- ⑦ 交通の便が良い
- ⑧ 特に感じていることはない
- ⑨ その他〔

	n=1,187	
選択肢	件数（件）	割合（%）
地区の住民同士のあいさつや声かけがある	620	52.2
穏やかな雰囲気を保っている	591	49.8
銀行や商店、病院などへ行きやすい（便利な立地）	304	25.6
ゴミなどが落ちていなくてきれい、清潔感がある	265	22.3
地区の活動が活発に行われている	174	14.7
落ち着いたまち並みが維持されている	144	12.1
交通の便が良い	114	9.6
特に感じていることはない	165	13.9
その他	29	2.4
無回答	12	1.0

※複数回答



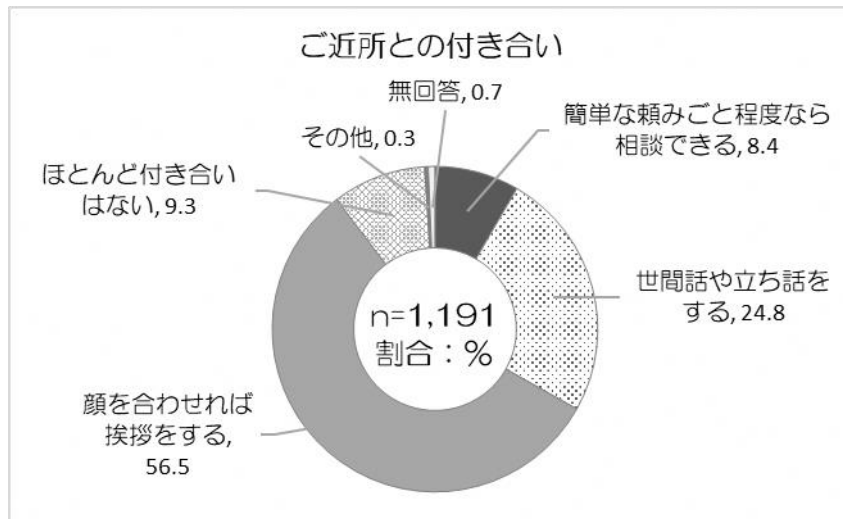
[その他の記述内容] ※世代順

- 学校が近い事。(20 歳代・女性)
- 静かで穏やかなところ。(20 歳代・男性)
- 車がないと生活できない。(30 歳代・女性)
- 高齢化。(40 歳代・男性)
- 学校が近い。(40 歳代・女性)
- 親の介護時、ご近所さんにサポートをしてもらえた。(50 歳代・女性)
- 商店街がなくなってしまう、今後車が使えなくなった時の買い物などや病院への通院など将来的に不安がある。水害地域になっているため、商業施設も建たないし、過疎化が進むばかり。水害は 80 年間起こっていないのに、そして当時と今では堤防や橋などずっと良くなっているのに、基準は 80 年前のまま。このままでは地域がどんどん住みづらくなっていくばかりで、不安でしょうがない。せっかく新幹線の駅だってあるのだから、もっとうまくアクセス方法など、町づくりや地域の活性化などにうまく活用していく方法を考えて計画実行してほしい。(50 歳代・女性)
- バスが通っていない。(50 歳代・男性)
- 交通の便が悪い、空き家が放置されている。(60 歳代・女性)
- とにかく自然が豊かすぎる位豊か。(60 歳代・男性)
- ない。(60 歳代・女性)
- 自然がいっぱい。(60 歳代・女性)
- 近くに店がない(食)。(60 歳代・女性)
- コンビニが近い。(70 歳代・男性)
- 銀行等が無い(車社会)。(70 歳代・男性)
- 病院不便、買い物不便。(70 歳代・男性)
- 大きな災害に遭いにくい、川も遠いし、山も遠いので。(70 歳代・女性)
- ないです。(70 歳代・男性)
- 今は動けるので不便は感じていない。(70 歳代・女性)
- 学校、スーパー、病院まで車で 20 分以上で立地条件悪い。(70 歳代・男性)
- 人と合うことがない。(80 歳以上・女性)
- 病院などへ行きにくい。いつもタクシーで行く。(80 歳以上・女性)
- 良いところはない。交通の便が必要。(80 歳以上・女性)
- 交通の便が悪い。(80 歳以上・男性)
- 運転をやめたので、今のところは良いけど…。(80 歳以上・女性)
- 本屋さんがあればいい。(80 歳以上・女性)

問8. あなたは、日頃、ご近所とどの程度のお付き合いがありますか。【○は1つだけ】

- ① 簡単な頼みごと程度なら相談できる  
 ② 世間話や立ち話をする  
 ③ 顔を合わせれば挨拶をする  
 ④ ほとんど付き合いはない  
 ⑤ その他〔

n=1,191		
選択肢	件数 (件)	割合 (%)
簡単な頼みごと程度なら相談できる	100	8.4
世間話や立ち話をする	295	24.8
顔を合わせれば挨拶をする	673	56.5
ほとんど付き合いはない	111	9.3
その他	4	0.3
無回答	8	0.7
計	1,191	100.0



[その他の記述内容] ※世代順

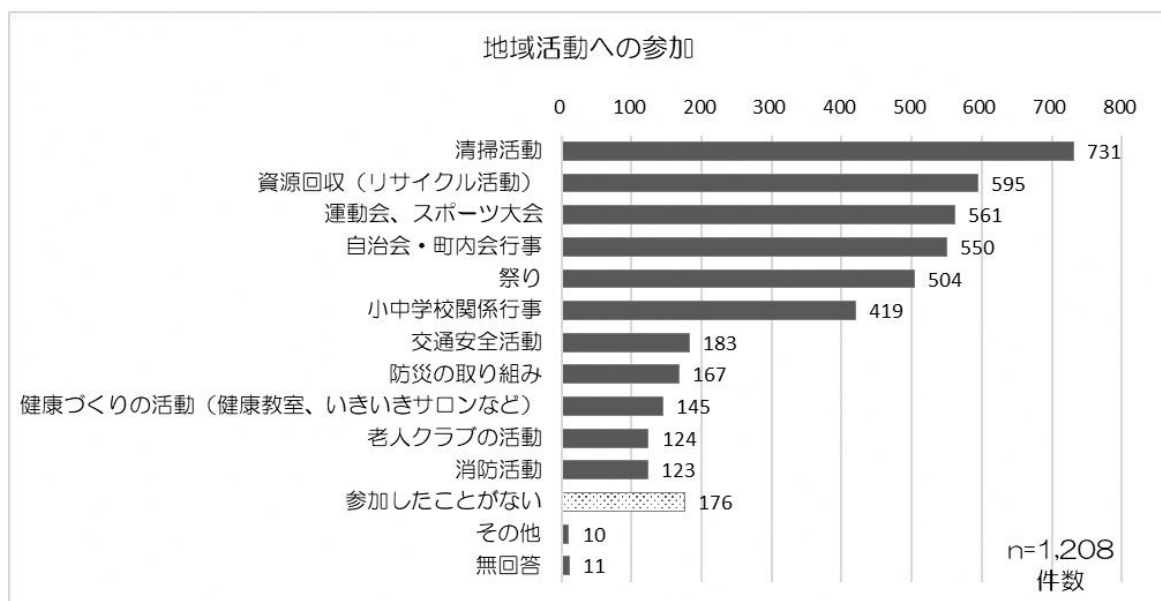
- だいたい③ですが、①②も少しいる。(50歳代・男性)
- お互いに高齢者世帯なので協力している。(60歳代・女性)
- 相手によりお付き合いしたり、そうでなかったり。(60歳代・男性)
- 「あいさつ」しない住人が来て困る。(80歳以上・女性)

問9. あなたは、地域のどのような活動に参加していますか（または過去に参加したことがありますか）。【参加している、または参加したことがあるもの全てに○をつけて下さい】

- ① 清掃活動
- ② 祭り
- ③ 運動会、スポーツ大会
- ④ 資源回収（リサイクル活動）
- ⑤ 小中学校関係行事
- ⑥ 老人クラブの活動
- ⑦ 自治会・町内会行事
- ⑧ 健康づくりの活動（健康教室、いきいきサロンなど）
- ⑨ 交通安全活動
- ⑩ 防災の取り組み
- ⑪ 消防活動
- ⑫ 参加したことがない→ 問10へ
- ⑬ その他〔 〕

	n=1,208	
選択肢	件数（件）	割合（％）
清掃活動	731	60.5
資源回収（リサイクル活動）	595	49.3
運動会、スポーツ大会	561	46.4
自治会・町内会行事	550	45.5
祭り	504	41.7
小中学校関係行事	419	34.7
交通安全活動	183	15.1
防災の取り組み	167	13.8
健康づくりの活動（健康教室、いきいきサロンなど）	145	12.0
老人クラブの活動	124	10.3
消防活動	123	10.2
参加したことがない	176	14.6
その他	10	0.8
無回答	11	0.9

※複数回答



[その他の記述内容] ※世代順

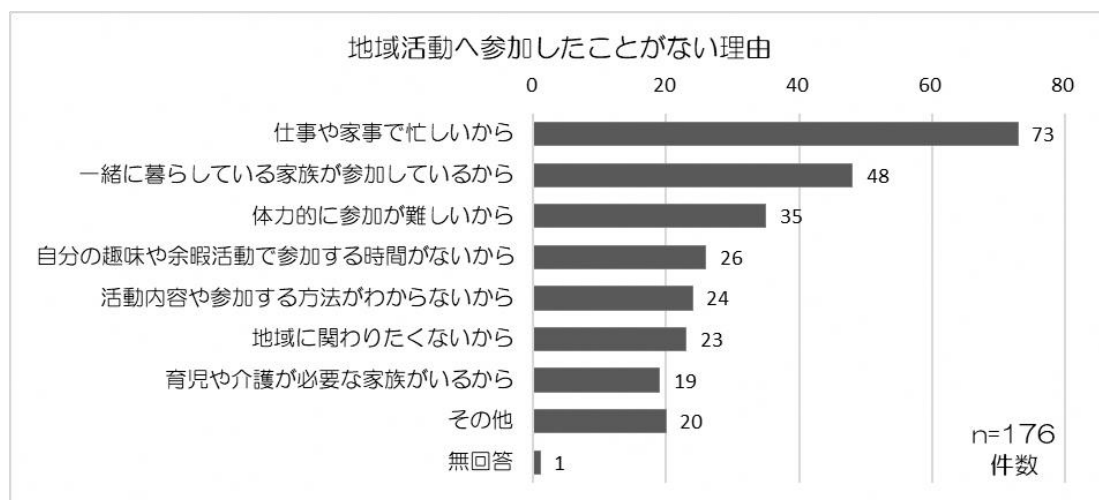
- ・郷土芸能。(20 歳代・女性)
- ・草刈り。(40 歳代・男性)
- ・広報配布、振興会費集金。(50 歳代・女性)
- ・草刈り。(60 歳代・女性)
- ・命を守るキーパー講習会。(60 歳代・女性)
- ・町内見守り。(70 歳代・女性)
- ・コロナ以降、地域活動が少なくなり又、参加人員も高齢化と共に意欲的な参加は、減って来ていると思う。(70 歳代・女性)
- ・参加できない。(70 歳代・男性)
- ・グランドゴルフ支部会員。(70 歳代・男性)
- ・昔はありました。(80 歳以上・女性)

問 10. 問 9 で「⑦ 参加したことがない」と回答した方のみお答えください。  
参加していない理由は何ですか。【あてはまるもの全てに○をつけて下さい】

- ① 仕事や家事で忙しいから
- ② 体力的に参加が難しいから
- ③ 自分の趣味や余暇活動で参加する時間がないから
- ④ 育児や介護が必要な家族がいるから
- ⑤ 活動内容や参加する方法がわからないから
- ⑥ 一緒に暮らしている家族が参加しているから
- ⑦ 地域に関わりたくないから
- ⑧ その他〔

	n=176	
選択肢	件数 (件)	割合 (%)
仕事や家事で忙しいから	73	41.5
一緒に暮らしている家族が参加しているから	48	27.3
体力的に参加が難しいから	35	19.9
自分の趣味や余暇活動で参加する時間がないから	26	14.8
活動内容や参加する方法がわからないから	24	13.6
地域に関わりたくないから	23	13.1
育児や介護が必要な家族がいるから	19	10.8
その他	20	11.4
無回答	1	0.6

※複数回答



[その他の記述内容] ※世代順

- そもそも活動があるのかすらわからない。(20歳代・女性)
- 障害者の為。(20歳代・男性)
- 一人暮らしを終えて実家に戻ったばかりだから。(20歳代・女性)
- 障害があるため。(30歳代・女性)
- まだ引っ越しをしたばかりだから。(30歳代・女性)
- 特に興味がないから。(30歳代・男性)
- 躊躇してしまう。(40歳代・女性)
- 子供主体で生活していた為、地域行事の土日はほぼ参加が困難だった。(胆沢・40歳代・女性)
- アパートなので関わる事がない。(40歳代・女性)
- 身体障害なので。(50歳代・女性)
- 興味がない。(50歳代・女性)
- 一緒に暮らしている人が参加しているため。(50歳代・女性)
- 体調不良のため。(50歳代・男性)
- 今はしていない。(60歳代・女性)
- 病気の為。(60歳代・男性)
- ここに住んでいなかったから。(60歳代・女性)
- 引っ越しをしたばかり。(60歳代・男性)
- 会社の寮に住んでいるから。(60歳代・女性)
- 参加できない、急に病気になったから。(70歳代・男性)
- 昔は参加したが、今はほとんどない。(70歳代・女性)
- 身体が弱い為、参加出来ない。町内会の人々は理解している。(80歳以上・女性)
- 難病をわずらい、活動できない。(80歳以上・女性)
- 息子が参加している。(80歳以上・女性)

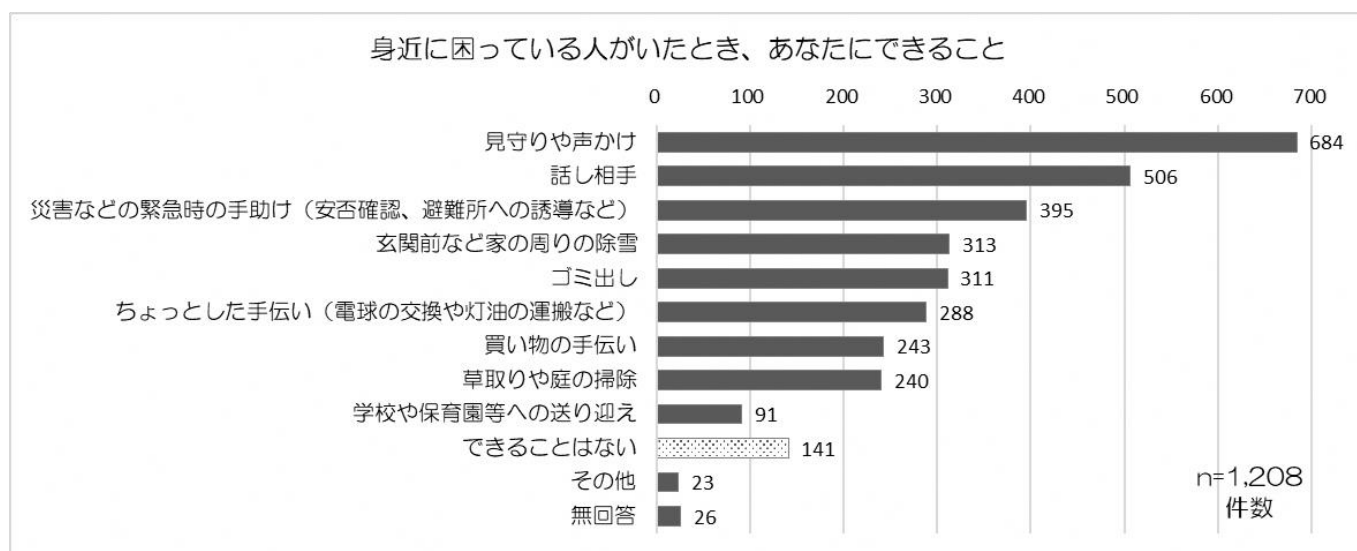
問 11. あなたの身近に困っている方がいる場合、あなたにできることはありますか。

【できると思うもの全てに○をつけて下さい】

- ① 見守りや声かけ
- ② 話し相手
- ③ 買い物の手伝い
- ④ ゴミ出し
- ⑤ ちょっとした手伝い（電球の交換や灯油の運搬など）
- ⑥ 草取りや庭の掃除
- ⑦ 玄関前など家の周りの除雪
- ⑧ 学校や保育園等への送り迎え
- ⑨ 災害などの緊急時の手助け（安否確認、避難所への誘導など）
- ⑩ できることはない
- ⑪ その他〔 〕

n=1,208		
選択肢	件数（件）	割合（％）
見守りや声かけ	684	56.6
話し相手	506	41.9
災害などの緊急時の手助け（安否確認、避難所への誘導など）	395	32.7
玄関前など家の周りの除雪	313	25.9
ゴミ出し	311	25.7
ちょっとした手伝い（電球の交換や灯油の運搬など）	288	23.8
買い物の手伝い	243	20.1
草取りや庭の掃除	240	19.9
学校や保育園等への送り迎え	91	7.5
できることはない	141	11.7
その他	23	1.9
無回答	26	2.2

※複数回答



[その他の記述内容] ※世代順

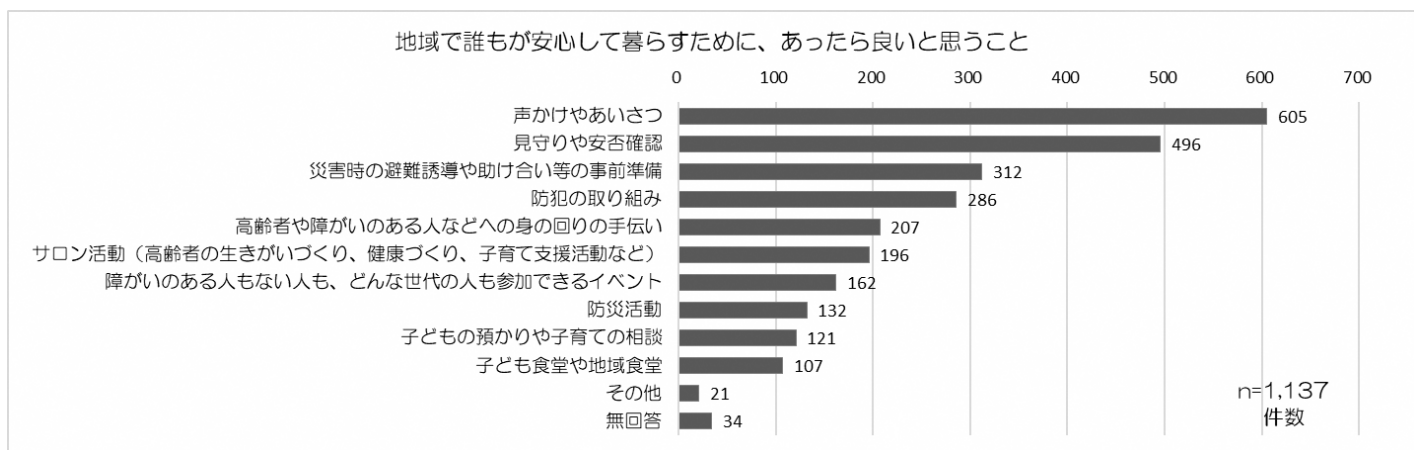
- ゴメン、自分の体、治すので手いっぱい。(30歳代・男性)
- どの程度困っているかによる。(30歳代・男性)
- 門口の除雪や道側の草取り。(40歳代・男性)
- お金を貸す。(50歳代・女性)
- ⑦の除雪機の貸し出しがあれば、すぐそばの数件の高齢者住宅の除雪をしたい。高齢者の方々が、大変そうですが私には除雪機購入の資金がありません。この地区が好きなのに。(60歳代・男性)
- 困っている近所の方のお世話をしたら「ドロボー」と言われたのであまりやりたくない。(60歳代・女性)
- 自分が病気の為、手助けができない。(60歳代・男性)
- 私自身、身体がよくないため、出来る範囲でしかできない。(60歳代・男性)
- プライベートなことなので要望があれば上記全てやれます。(60歳代・男性)
- 災害時、避難者の受け入れ等(一家族)、又は、2～3人。(60歳代・男性)
- 透析を始め7年になり、現在は皆様から助けられ、見守られる現状です(身体のおとろえ等なので)。(70歳代・男性)
- 体調が悪いので自分の事だけで…。(80歳以上・女性)
- 自分に出来る事はやってあげたいと思います。(80歳以上・女性)
- 年令や体力的に家のことだけでいっぱい입니다。(80歳以上・女性)
- 自分の事でせいいっぱい。(80歳以上・女性)
- 老人のため何も出来ません。(80歳以上・無回答)
- 思いはあるが、高齢、身体的事情で、できません。(80歳以上・男性)

問 12. 住み慣れた地域で、みんなが安心して暮らすためには、どのような活動があったら良いと思いますか。【あったら良いと思うもの3つまで○をつけて下さい】

- ① 声かけやあいさつ
- ② 見守りや安否確認
- ③ サロン活動（高齢者の生きがいがづくり、健康づくり、子育て支援活動など）
- ④ 子ども食堂や地域食堂
- ⑤ 高齢者や障がいのある人などへの身の回りの手伝い
- ⑥ 子どもの預かりや子育ての相談
- ⑦ 障がいのある人もない人も、どんな世代の人も参加できるイベント
- ⑧ 災害時の避難誘導や助け合い等の事前準備
- ⑨ 防犯の取り組み
- ⑩ 防災活動
- ⑪ その他〔 〕

	n=1,137	
選択肢	件数（件）	割合（％）
声かけやあいさつ	605	53.2
見守りや安否確認	496	43.6
災害時の避難誘導や助け合い等の事前準備	312	27.4
防犯の取り組み	286	25.2
高齢者や障がいのある人などへの身の回りの手伝い	207	18.2
サロン活動（高齢者の生きがいがづくり、健康づくり、子育て支援活動など）	196	17.2
障がいのある人もない人も、どんな世代の人も参加できるイベント	162	14.2
防災活動	132	11.6
子どもの預かりや子育ての相談	121	10.6
子ども食堂や地域食堂	107	9.4
その他	21	1.8
無回答	34	3.0

※複数回答



[その他の記述内容] ※世代順

- インフラ整備、小児科（産科）の常設。（30 歳代・男性）
- どれもあった方が良いと思うが、参加協力は難しい。（30 歳代・女性）
- スーパー、買い物する場所が遠い。みんなが集える場所がない。（30 歳代・女性）
- 独身なのであまり係りが無いが、母は何かと気付いた事はやっている様なので。（40 歳代・男性）
- 悪い事をしない、人をおどさない！！（40 歳代・男性）
- ボランティア活動や地域活動で上に立つ人が威圧的で新たに行きたくても行ったらよそ者扱いされる。（40 歳代・男性）
- 高齢者や障がい者の移動手手段の確保。お困りごとの相談。（50 歳代・女性）
- 還付金。（50 歳代・女性）
- ④以外、既に行っている（行われている）。（60 歳代・男性）
- 特になし。（60 歳代・女性）
- 小学生の児童センターに高齢ではあるが元気な方がお手伝いに行くなどの交流があるとよい。（60 歳代・女性）
- ゴミ拾いなど活動あればいいと思う。（60 歳代・女性）
- 自分自身が生活するのがやっとで、アンケートに関してお答えを差し控えさせていただきます。（60 歳代・男性）
- 草刈り。（60 歳代・女性）
- 放置田畑の除草。（60 歳代・女性）
- 別になし。（70 歳代・女性）
- 車を運転できない人に対しての交通の便が良い。（80 歳以上・男性）
- 特になし。（80 歳以上・男性）

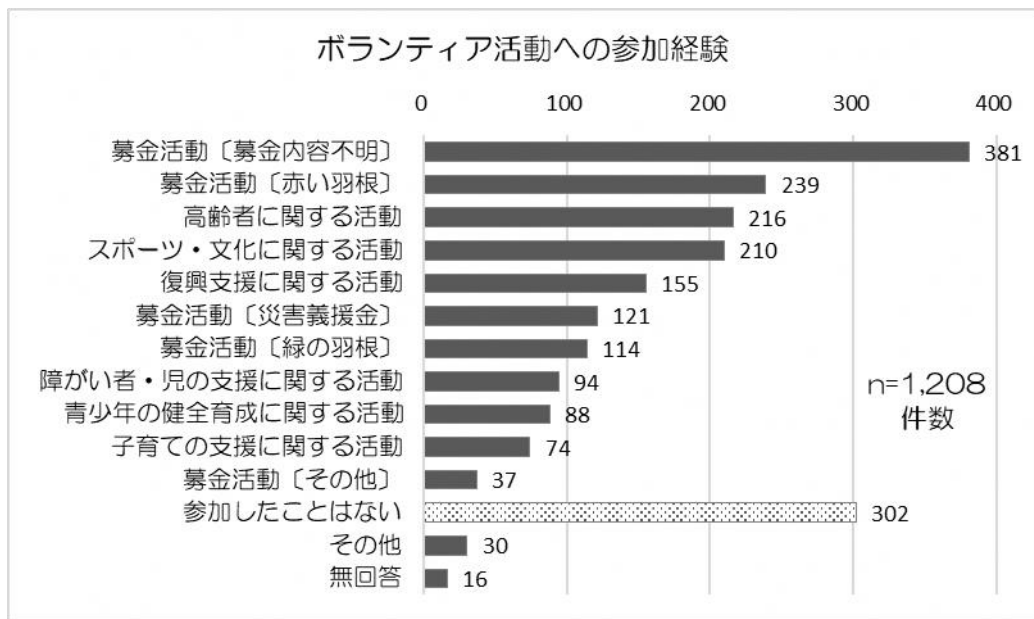
### 3. ボランティア活動について

問 13. あなたは、今までに何らかのボランティア活動に参加したことがありますか（募金も含む）。【あてはまるもの全てに○をつけて下さい】

- ① 高齢者に関する活動
- ② 青少年の健全育成に関する活動
- ③ 障がい者・児の支援に関する活動
- ④ スポーツ・文化に関する活動
- ⑤ 子育ての支援に関する活動
- ⑥ 復興支援に関する活動
- ⑦ 募金活動〔・赤い羽根 ・緑の羽根 ・災害義援金 ・その他 〕
- ⑧ 参加したことはない → 問 14 へ
- ⑨ その他〔 〕

選択肢	件数（件）	割合（％）
募金活動〔募金内容不明〕	381	31.5
募金活動〔赤い羽根〕	239	19.8
高齢者に関する活動	216	17.9
スポーツ・文化に関する活動	210	17.4
復興支援に関する活動	155	12.8
募金活動〔災害義援金〕	121	10.0
募金活動〔緑の羽根〕	114	9.4
障がい者・児の支援に関する活動	94	7.8
青少年の健全育成に関する活動	88	7.3
子育ての支援に関する活動	74	6.1
募金活動〔その他〕	37	3.1
参加したことはない	302	25.0
その他	30	2.5
無回答	16	1.3

※複数回答



[その他の記述内容] ※世代順

- ごみ拾い（清掃活動）。（20 歳代・女性）
- お祭りの時の清掃活動。（20 歳代・女性）
- 保護猫支援。（30 歳代・男性）
- 寺子屋の見守り。（30 歳代・女性）
- 美化活動。（30 歳代・男性）
- 自治会費から強制的に募金が取られる。（30 歳代・男性）
- がん患者さんの支援。（30 歳代・女性）
- 小学校ボランティア。（40 歳代・女性）
- 地域の小中学校でのボランティア。（40 歳代・女性）
- 盲導犬ボランティアで県外へ。（40 歳代・男性）
- ゴミ拾い。（40 歳代・女性）
- 献血。（40 歳代・女性）
- 消防団。（50 歳代・男性）
- 清掃活動。（60 歳代・男性）
- 読み聞かせ活動。（60 歳代・女性）
- 緑の羽根、赤十字、赤い羽根、たすけあい募金→強制ですね。（60 歳代・男性）
- 遺族会。（60 歳代・女性）
- 子供食堂のための募金活動。（70 歳代・女性）
- 今は高齢障害者となり参加できない。（70 歳代・男性）
- 地区の基盤整備事業。（70 歳代・男性）
- 道路、道ばたの草取り、植木の刈取り（市への協力）。（70 歳代・男性）
- 病院ボランティア。（80 歳以上・女性）
- スクールガード。（80 歳以上・男性）
- 交通が非常にない。（80 歳以上・女性）
- 参加した事はないが、募金はしている。（80 歳以上・女性）
- エコキャップのしわけ。（80 歳以上・女性）
- 防犯活動。（80 歳以上・男性）
- 市道の草刈。（80 歳以上・男性）

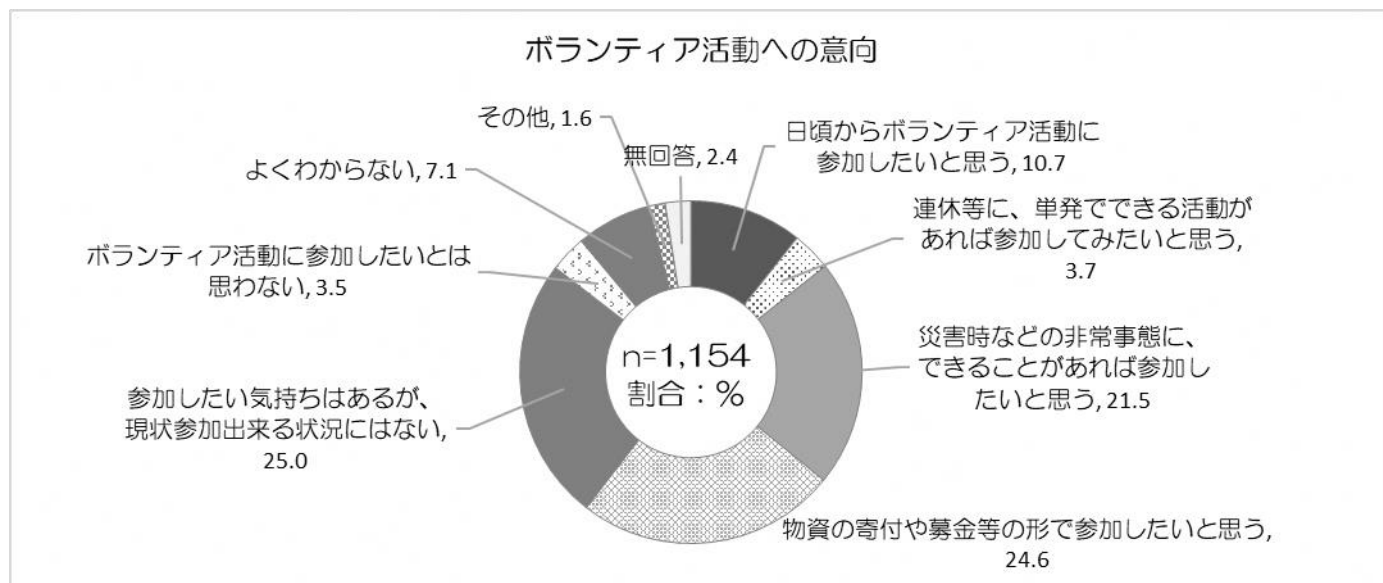


- 身体障害者だから。(50 歳代・女性)
- ⑥でもあるが、誘われてもいないので。(50 歳代・女性)
- 一緒に暮らしている人が参加しているので。(50 歳代・女性)
- 経済的（現地に行くまでの交通費、宿泊費など）に余裕がないから。(50 歳代・女性)
- 自分が障害者だから。(60 歳代・男性)
- 誘われた事なし。(70 歳代・女性)
- 障がい者だから参加出来ません。(70 歳代・男性)
- 若い時はしたが世代交替で。(70 歳代・女性)
- 周囲にそうした事業（ボランティア）がない、又声かけや依頼もなし。(80 歳以上・男性)

問 15. 全ての方にかがいます。ボランティア活動について、あなたの今のお気持ちに最も近いものを1つお選びください。

- ① 日頃から何かしらのボランティア活動に参加したいと思う
- ② 夏休みやゴールデンウィークなどの連休に、単発でできる活動があれば参加してみたいと思う
- ③ 災害時などの非常事態に、できることがあれば参加したいと思う
- ④ 直接活動には参加出来ないが、物資の寄付や募金等の形で参加したいと思う
- ⑤ 参加したい気持ちはあるが、現状参加出来る状況にはない
- ⑥ ボランティア活動に参加したいとは思わない
- ⑦ よくわからない
- ⑧ その他〔 〕

選択肢	n=1,154	
	件数 (件)	割合 (%)
日頃から何かしらのボランティア活動に参加したいと思う	123	10.7
夏休みやゴールデンウィークなどの連休に、単発でできる活動があれば参加してみたいと思う	43	3.7
災害時などの非常事態に、できることがあれば参加したいと思う	248	21.5
直接活動には参加出来ないが、物資の寄付や募金等の形で参加したいと思う	284	24.6
参加したい気持ちはあるが、現状参加出来る状況にはない	288	25.0
ボランティア活動に参加したいとは思わない	40	3.5
よくわからない	82	7.1
その他	18	1.6
無回答	28	2.4
計	1,154	100.0



※選択肢の文章一部省略。

[その他の記述内容] ※世代順

- 要請されたら参加する。(20 歳代・女性)
- 仕事の一環で出来ればいいと思う。(20 歳代・女性)
- 障害があるので難しい。(20 歳代・男性)
- 参加したいが時間がない。(40 歳代・男性)
- 親の介護等もあり、近所の声かけや募金等、その時々自分に出来る範囲を考えて行いたい。(50 歳代・女性)
- 相手がどのような方なのか、ある程度理解してから行いたいと思います。(60 歳代・女性)
- 無理のない程度で、できる事は何でもする。(70 歳代・女性)
- 高齢なので家の仕事等する事で精一杯です。(80 歳以上・男性)
- 80 才以上なので老人クラブだけ。(80 歳以上・女性)
- 年をとってとてもむりです。(80 歳以上・男性)
- 高齢です。(80 歳以上・女性)
- 高齢なので難題です。(80 歳以上・男性)
- 体力的障害。(80 歳以上・男性)

#### 4. 暮らしの中の不安や相談について

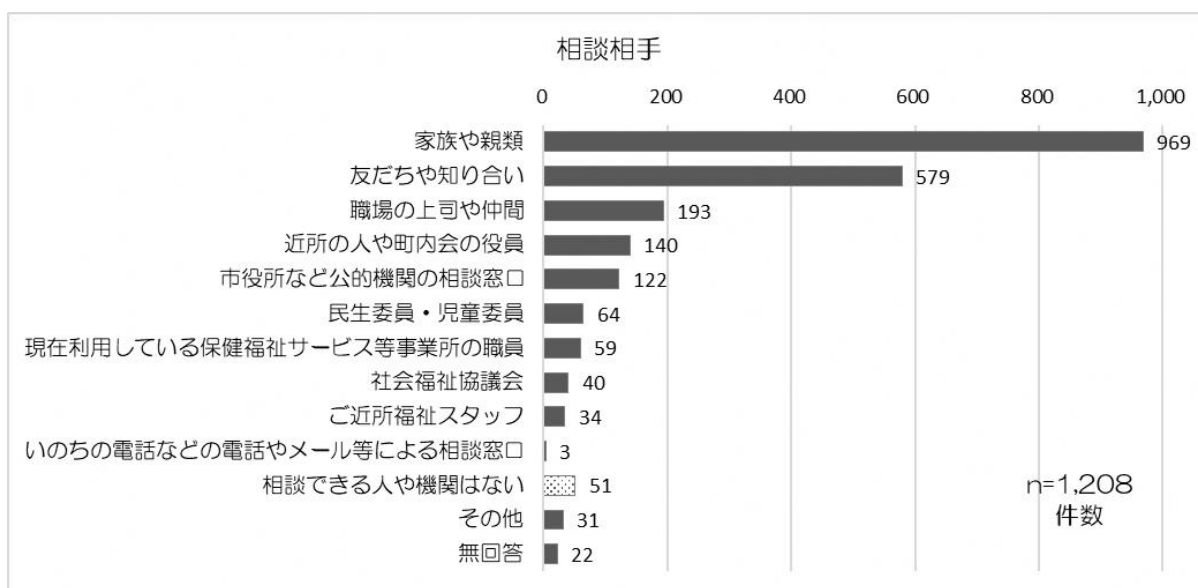
問 16. あなたは、日常生活の中での困りごとを、誰に（どこに）相談していますか。

【あてはまるもの全てに○をつけて下さい】

- ① 家族や親類
- ② 近所の人や町内会の役員
- ③ 友だちや知り合い
- ④ 職場の上司や仲間
- ⑤ 民生委員・児童委員
- ⑥ 市役所など公的機関の相談窓口
- ⑦ 社会福祉協議会
- ⑧ ご近所福祉スタッフ
- ⑨ 現在利用している保健福祉サービス等事業所の職員
- ⑩ いのちの電話などの電話やメール等による相談窓口
- ⑪ 相談できる人や機関はない
- ⑫ その他〔

	n=1,208	
選択肢	件数（件）	割合（％）
家族や親類	969	80.2
友だちや知り合い	579	47.9
職場の上司や仲間	193	16.0
近所の人や町内会の役員	140	11.6
市役所など公的機関の相談窓口	122	10.1
民生委員・児童委員	64	5.3
現在利用している保健福祉サービス等事業所の職員	59	4.9
社会福祉協議会	40	3.3
ご近所福祉スタッフ	34	2.8
いのちの電話などの電話やメール等による相談窓口	3	0.2
相談できる人や機関はない	51	4.2
その他	31	2.6
無回答	22	1.8

※複数回答



[その他の記述内容] ※世代順

- SNS。(20 歳代・女性)
- インターネット上での相談。(30 歳代・男性)
- ネットの専用アプリ、SNS 等。(30 歳代・女性)
- パートナー。(30 歳代・女性)
- 福祉施設ケアマネージャー他。(50 歳代・女性)
- 特に困りごとはない。(50 歳代・女性)
- 一度、市の弁護士相談にいったが、相手にされていないという事を肌で感じた。若い方であったが、相談者の目を一度も見ないのには驚いた。ボランティアの弁護士であれば仕方がないが、もし、私達の税金で報酬を受けているのであれば、それなりに相談できる方であってほしい。(60 歳代・女性)
- 弁護士。(60 歳代・女性)
- まだ不安など、ない。(60 歳代・女性)
- 障害者支援員。(60 歳代・男性)
- 特に相談することがない。(70 歳代・男性)
- 色々な困りごとがあると思いますが、幸いなことに、どこに相談したらいいか、という様な事例は今の所起きていません。多分これから社会福祉協議会にはお世話になると思っています。(70 歳代・女性)
- 相談したことない。(70 歳代・男性)
- 特になし。(70 歳代・男性)
- だれにも相談しません。(70 歳代・男性)
- 特になし。(80 歳以上・男性)
- 近所に良くしてくれる人があり、助かってます。(80 歳以上・女性)
- 県市議員。(80 歳以上・男性)
- 今まで利用した事はないが、これから必要になって来ると思う。(80 歳以上・女性)
- 自分で切り抜けてきたつもり。(80 歳以上・女性)
- 美楽会居宅介護支援事業所。(80 歳以上・女性)
- 困りごとは無い。(80 歳以上・男性)
- 娘に相談する。(80 歳以上・女性)
- 現在困り事無し。(80 歳以上・男性)
- 現在あまり困りごとを感じていない。(80 歳以上・男性)

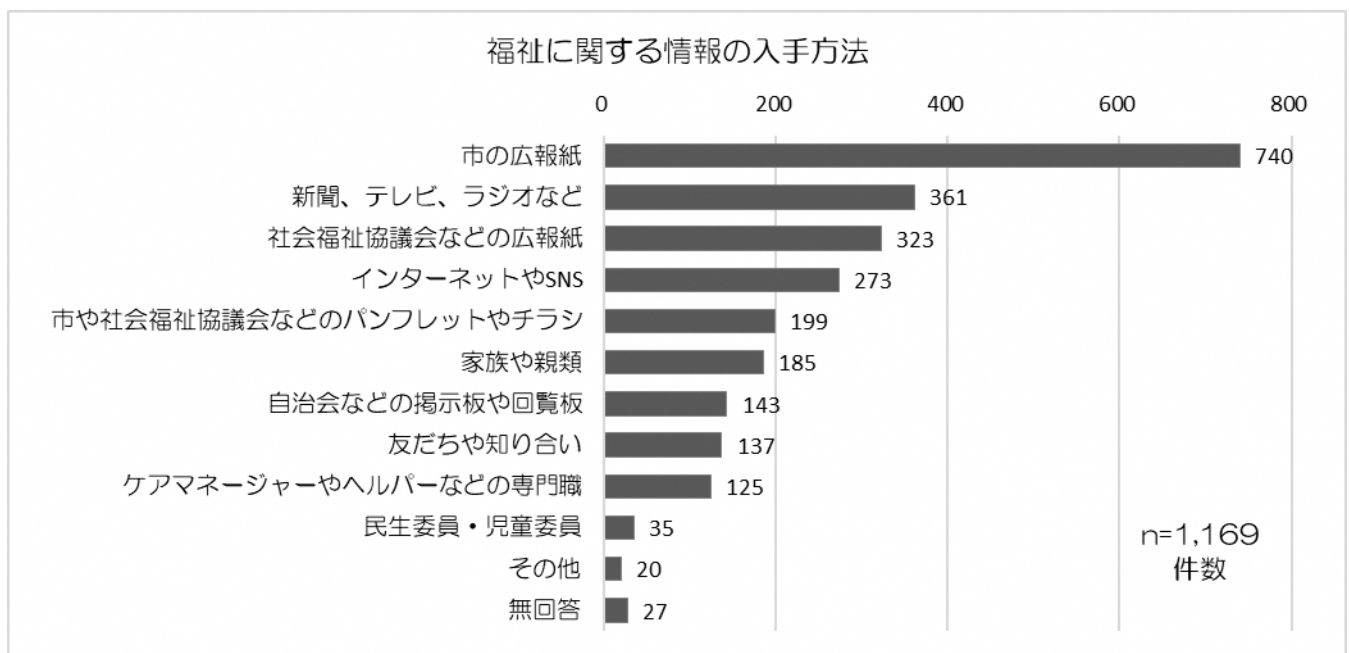
問 17. あなたは、福祉についての情報や知識をどのようにして得ていますか。

【よく利用するもの3つまで○をつけて下さい】

- ① 市の広報紙
- ② 社会福祉協議会などの広報紙
- ③ 市や社会福祉協議会などのパンフレットやチラシ
- ④ インターネットやSNS
- ⑤ 新聞、テレビ、ラジオなど
- ⑥ 民生委員・児童委員
- ⑦ 自治会などの掲示板や回覧板
- ⑧ 家族や親類
- ⑨ 友だちや知り合い
- ⑩ ケアマネージャーやヘルパーなどの専門職
- ⑪ その他〔 〕

選択肢	件数（件）	割合（%）
市の広報紙	740	63.3
新聞、テレビ、ラジオなど	361	30.9
社会福祉協議会などの広報紙	323	27.6
インターネットやSNS	273	23.4
市や社会福祉協議会などのパンフレットやチラシ	199	17.0
家族や親類	185	15.8
自治会などの掲示板や回覧板	143	12.2
友だちや知り合い	137	11.7
ケアマネージャーやヘルパーなどの専門職	125	10.7
民生委員・児童委員	35	3.0
その他	20	1.7
無回答	27	2.3

※複数回答



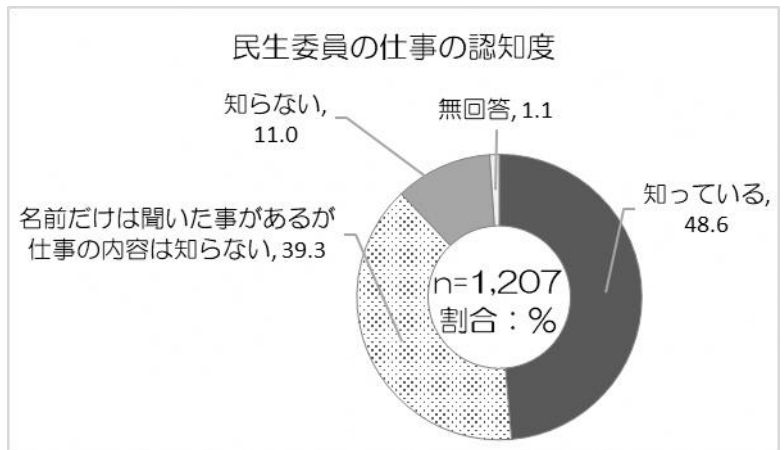
[その他の記述内容] ※世代順

- 親は看護師、介護施設勤務。(20 歳代・男性)
- 知識を得ていない。(20 歳代・男性)
- 通院先の病院や市役所に行った際に話されてから知ることある。(20 歳代・女性)
- 得てない。(30 歳代・男性)
- なし。(40 歳代・男性)
- 今回のアンケートで知った。(40 歳代・男性)
- 地元紙。(40 歳代・男性)
- 積極的に情報を入手する活動をしていない。(50 歳代・男性)
- 民生委員は来ません、専門職の方だけ。(70 歳代・男性)
- 母親が生前、施設でお世話になりました。デイサービス他。(70 歳代・男性)
- 助けてくれる人も年なのですがとっても良くしてくれます。(80 歳以上・女性)
- 夫 87 才、私 84 才、まだ世話になってない。(80 歳以上・女性)
- 県市議員。(80 歳以上・男性)
- 老人クラブ。(80 歳以上・男性)
- なし。(80 歳以上・女性)

問 18. あなたは、民生委員・児童委員の仕事をご存じですか。【1つに〇】

- ① 知っている  
 ② 名前だけは聞いた事があるが仕事の内容は知らない  
 ③ 知らない

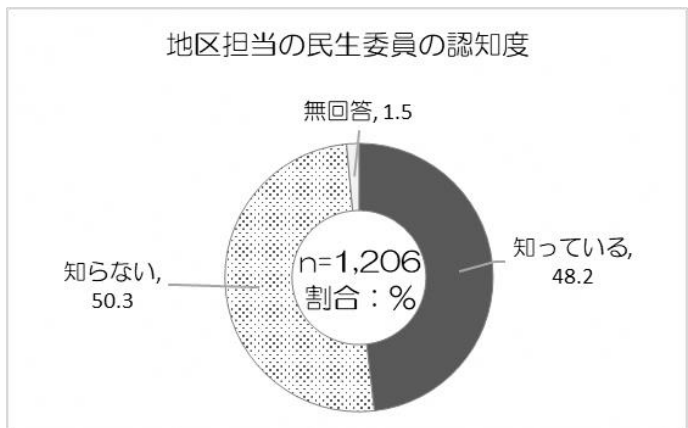
		n=1,207	
選択肢	件数 (件)	割合 (%)	
知っている	587	48.6	
名前だけは聞いた事があるが仕事の内容は知らない	474	39.3	
知らない	133	11.0	
無回答	13	1.1	
計	1,207	100.0	



問 19. あなたは、あなたの地区の担当民生委員・児童委員をご存じですか。【1つに〇】

- ① 知っている                      ② 知らない

		n=1,206	
選択肢	件数 (件)	割合 (%)	
知っている	581	48.2	
知らない	607	50.3	
無回答	18	1.5	
計	1,206	100.0	



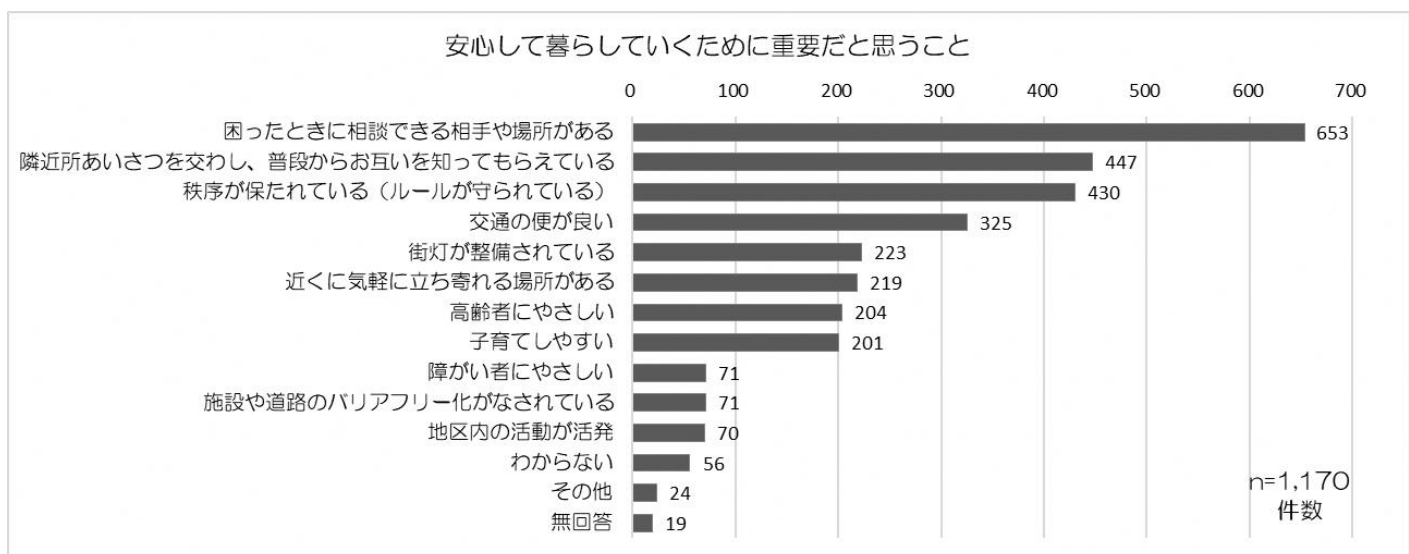
問 20. あなたが、安心して暮らしていくために重要だと思うことは何ですか。

【お気持ちに近いものを上位3つまでお選び下さい。】

- ① 困ったときに相談できる相手や場所がある
- ② 隣近所あいさつを交わし、普段からお互いを知ってもらえている
- ③ 近くに気軽に立ち寄れる場所がある
- ④ 秩序が保たれている（ルールが守られている）
- ⑤ 地区内の活動が活発
- ⑥ 子育てしやすい
- ⑦ 高齢者にやさしい
- ⑧ 障がい者にやさしい
- ⑨ 交通の便が良い
- ⑩ 街灯が整備されている
- ⑪ 施設や道路のバリアフリー化がなされている
- ⑫ わからない
- ⑬ その他〔 〕

	n=1,170	
選択肢	件数（件）	割合（%）
困ったときに相談できる相手や場所がある	653	55.8
隣近所あいさつを交わし、普段からお互いを知ってもらえている	447	38.2
秩序が保たれている（ルールが守られている）	430	36.8
交通の便が良い	325	27.8
街灯が整備されている	223	19.1
近くに気軽に立ち寄れる場所がある	219	18.7
高齢者にやさしい	204	17.4
子育てしやすい	201	17.2
障がい者にやさしい	71	6.1
施設や道路のバリアフリー化がなされている	71	6.1
地区内の活動が活発	70	6.0
わからない	56	4.8
その他	24	2.1
無回答	19	1.6

※複数回答



[その他の記述内容] ※世代順

- やっている感ではなく結果を出す行政。(20 歳代・男性)
- SOGI に関する知識を得やすい。(20 歳代・女性)
- 若者が気軽に集まれる場所がある。(30 歳代・男性)
- 買い物に行くのに遠すぎるので近場に買い物ができるショッピングモールがほしい。(30 歳代・女性)
- 子育てを相談したり子どもが遊んだりできる場所。(30 歳代・女性)
- 家族や自分が病気になった時に申請出来るもの、介護に関する援助などを教えてもらえる環境。(30 歳代・女性)
- 近くに病院がある事。(40 歳代・女性)
- 防犯。(40 歳代・男性)
- 障がい、介護、医療の案内、説明や対応等に医療機関や福祉施設により、親切さや分かりやすさ、対応力にだいぶ違いがあり、分からない人に対する対応が行政を含めてより拡充されると、不安が減るのではと思う。いろいろなことが法律で決められ制限があると思うが、サービス等の対応外となった時等、突然、1 人で、どう対応するのか…という局面にあい、何度も途方にくれた。介護関係は、何が分からないのかを分かるようになるのが難しく、市で用意している資料であっても分かりにくいので、改善されると安心感が増し、暮らしやすいのではと思う。(50 歳代・女性)
- 医療施設の充実。(50 歳代・男性)
- 防犯対策、住居周辺のクマ、イノシシ害獣対策（農作業害獣対策）、「衣食住」の「食」について、購入できる小さくても充実しているスーパー、ストアが必要。(50 歳代・女性)
- 害獣駆除。(50 歳代・女性)
- 店の充実化（店が少ない）。(50 歳代・女性)
- 公園。(60 歳代・男性)
- 自宅の近くにゴミ収集場がほしい。(60 歳代・男性)
- 防犯カメラの設置。(60 歳代・女性)
- 相談して解決に至らない場合の、相談場所。(60 歳代・女性)
- ①③立ち寄れる場所がない。(70 歳代・女性)
- 自治会活動に積極的に参加し、自分を分かってもらおう。(70 歳代・男性)
- 防犯の取組み。(80 歳以上・男性)
- 近場に買物出来るスーパーがあれば良い。(80 歳以上・男性)

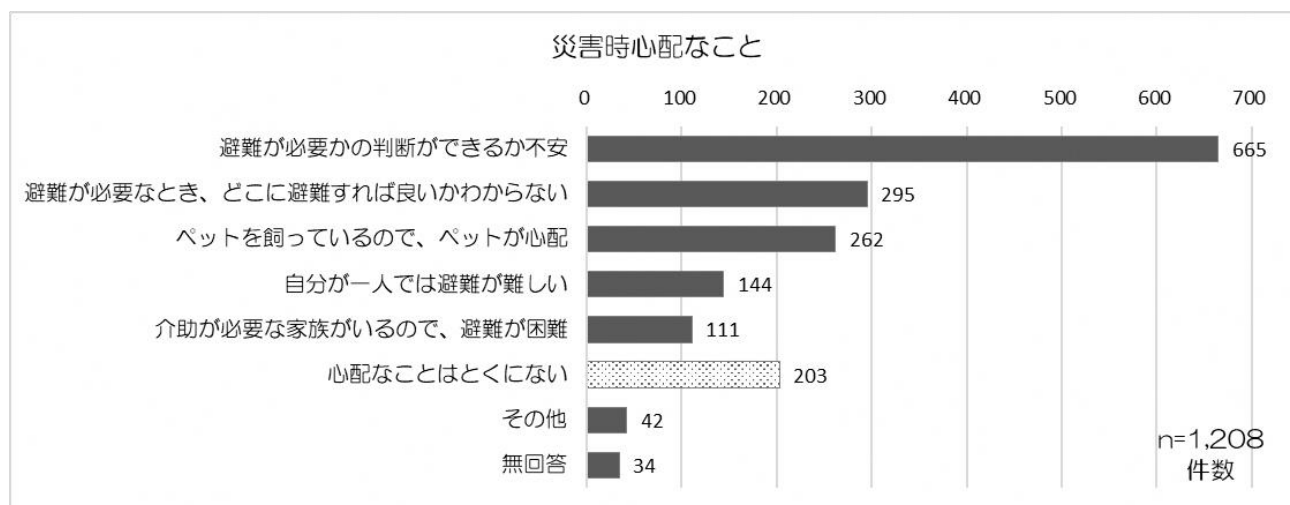
## 5. 防災活動について

問 21. 地震や風水害などが発生したとき、心配なことはありますか。【あてはまるもの全てに○】

- ① 避難が必要かの判断ができるか不安
- ② 介助が必要な家族がいるので、避難が困難
- ③ 自分が一人では避難が難しい
- ④ 避難が必要なおとき、どこに避難すれば良いかわからない
- ⑤ ペットを飼っているので、ペットが心配
- ⑥ 心配なことはとくにない
- ⑦ その他〔 〕

選択肢	件数 (件)	割合 (%)
避難が必要かの判断ができるか不安	665	55.0
避難が必要なおとき、どこに避難すれば良いかわからない	295	24.4
ペットを飼っているので、ペットが心配	262	21.7
自分が一人では避難が難しい	144	11.9
介助が必要な家族がいるので、避難が困難	111	9.2
心配なことはとくにない	203	16.8
その他	42	3.5
無回答	34	2.8

※複数回答



[その他の記述内容] ※世代順

- 避難先での生活が不安。(10歳代・女性)
- 別居している祖父母が避難せず家に待機しそうで不安。(10歳代・女性)
- 生活に必要な物資の買い占め。(20歳代・男性)
- 家や街の状況、家族や知り合いの安否、避難所の体制が整っているか。(20歳代・女性)
- 夫が仕事で週1回程度しか帰ることができないので、家族や子供2人連れて避難できるか心配。(20歳代・女性)
- 自己の生存可能性。(20歳代・男性)
- 泥棒に物を盗まれないか。(30歳代・男性)

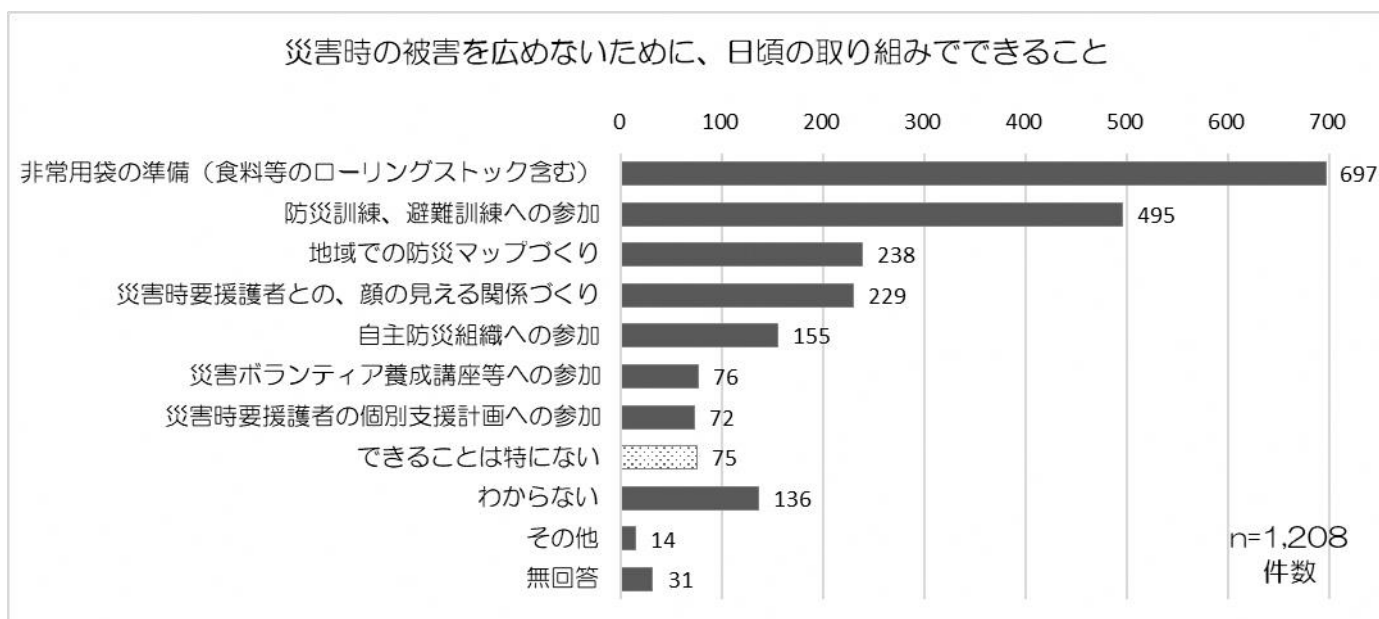
- 子ども、赤ちゃんがいるので、どうすればいいかわからない。(30 歳代・女性)
- 雨が降るたびに、家の門口が冠水します。奥州市職員の方の対応が早いので話してよかったと思うところはありますが、胆沢平野がなかなか動いてくれない。車で出ようにも、車がこわれるくらいに水位が高いので出せず仕事も休まなければならないくらいなのに、他人事のようで、税金も払っているのに、街の方々は守られても、田舎は守られないと感じた。子育てもして、子供たちも学校や、アルバイトにも支障がでている。早急に対応してもらいたい。(30 歳代・女性)
- 地盤の緩みなど災害が起きないか心配。(30 歳代・女性)
- 家が倒壊したり損壊したりした場合、修理などにかかる費用。(30 歳代・女性)
- 子供達と一緒に居ない時(学校など)に迎えが出来るかなど。(40 歳代・女性)
- 子供だけで家にいる時に発生した場合。(40 歳代・女性)
- その時必要な情報がどのように正確に届くのか。(40 歳代・女性)
- 避難所の整備は整っているのか?(40 歳代・女性)
- 地域に知ってる人がいない為相談が難しい。(40 歳代・女性)
- 水が川から流れてきたら、どうやって防いだらよいかわからず不安だ。(50 歳代・女性)
- 発電機等全て揃えている。(50 歳代・女性)
- 周辺住民が避難またはその準備が出来ているとは思えない。(50 歳代・男性)
- 避難所の設備。(60 歳代・男性)
- 停電。(60 歳代・女性)
- 行政の発信が遅いので、無視して行動できないと被災してしまう。(60 歳代・男性)
- 逃げないでいる。(60 歳代・男性)
- 非常用物資の確保、水、電気等。(60 歳代・女性)
- ③ここにいるという家族を置いていけない。(60 歳代・女性)
- 特になし。(60 歳代・男性)
- 奥州市全世帯に防災ラジオがあると安心です。(60 歳代・男性)
- 覚悟を決めている(どうなろうと)。(60 歳代・男性)
- 避難より自宅の被害が心配(毎回被害受けてます)。(60 歳代・男性)
- 県道に行くまでの市道がせまくて低地車又は歩くのに水没してしまうので避難が大変。特に年々高齢になっていくので、自宅には住むことが出来なくなるのではと不安。(70 歳代・女性)
- 情報。(70 歳代・男性)
- 停電。(70 歳代・男性)
- 周知方法に疑問を感じる。高齢者には耳から入る情報が必要と思います。(70 歳代・女性)
- 地区防災自主組織による。(70 歳代・男性)
- 電力や飲料水の確保。(70 歳代・男性)
- 東日本大震災で江刺に来て津波など心配ないと安心している。(80 歳以上・女性)
- 近所によくしてくれます。(80 歳以上・女性)
- 身体障害者の方ーその人は避難しているかと、家まで行ってみる。(80 歳以上・女性)
- 家族にまかせる。(80 歳以上・女性)

問 22. 地震や風水害が発生したとき、その被害を広めないために地域で日頃から取り組んでおくこととして、あなたができることは何ですか。【あてはまるもの全てに○】

- ① 防災訓練、避難訓練への参加
- ② 災害時要援護者との、顔の見える関係づくり
- ③ 災害時要援護者の個別支援計画への参加
- ④ 地域での防災マップづくり
- ⑤ 災害ボランティア養成講座等への参加
- ⑥ 自主防災組織への参加
- ⑦ 非常用袋の準備（食料等のローリングストック含む）
- ⑧ できることは特にない
- ⑨ わからない
- ⑩ その他〔

選択肢	件数（件）	割合（％）
非常用袋の準備（食料等のローリングストック含む）	697	57.7
防災訓練、避難訓練への参加	495	41.0
地域での防災マップづくり	238	19.7
災害時要援護者との、顔の見える関係づくり	229	19.0
自主防災組織への参加	155	12.8
災害ボランティア養成講座等への参加	76	6.3
災害時要援護者の個別支援計画への参加	72	6.0
できることは特にない	75	6.2
わからない	136	11.3
その他	14	1.2
無回答	31	2.6

※複数回答



[その他の記述内容] ※世代順

- 安全な地域への引越し。(30 歳代・女性)
- 自己責任なので、行政には避難場所と食糧しか特に求めない。(30 歳代・男性)
- 気持ちはあるが、そんな時間はない…なので、できない。(40 歳代・女性)
- 不安を煽らないこと。(50 歳代・男性)
- 行政による避難所の見直しとシミュレーション。(60 歳代・男性)
- 身近なところの点検と補修。(60 歳代・女性)
- いざ、被害が発生した場合、パニックになってできるのかの方が心配。(60 歳代・男性)
- 避難場所の確認。(60 歳代・男性)
- 防災訓練は必要だと思っている。(70 歳代・女性)
- 家のかたむいてます。(70 歳代・男性)
- すべてに参加したいが、高齢者には無理です。(80 歳以上・男性)

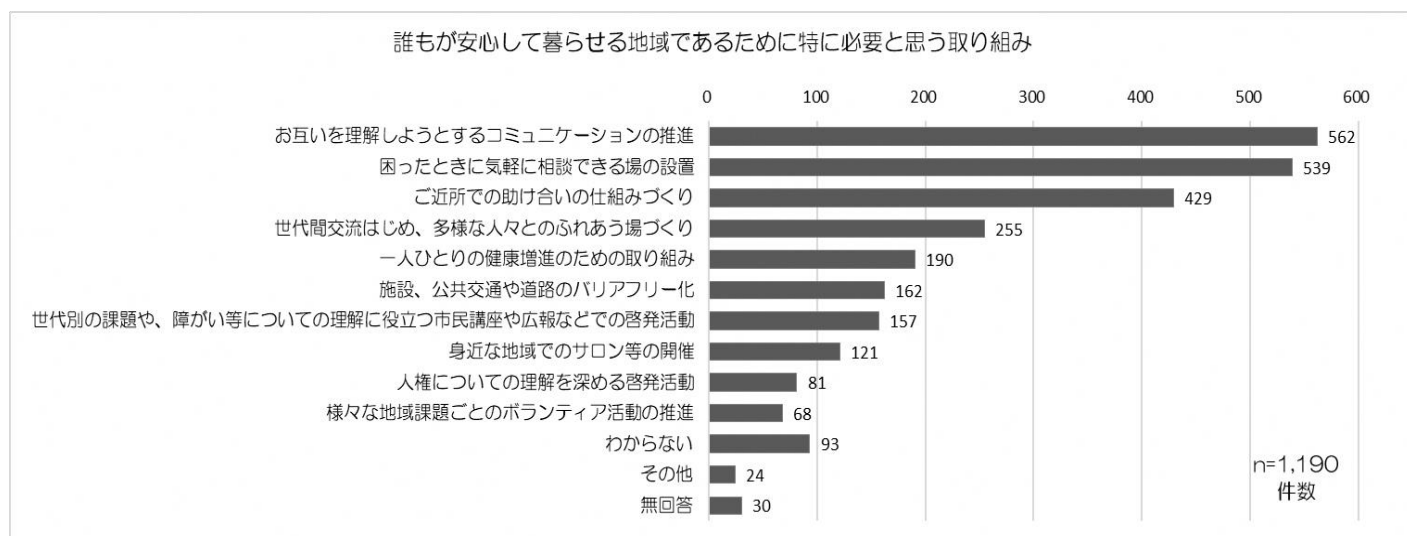
## 6. だれもが安心して暮らせる地域（共生社会）であるために

問 23. 子どもも高齢者も、障がいがあってもなくても、子育て中でも病気になっても、国籍が異なっても、だれもが安心して暮らせる地域であるために、どのような取り組みが必要だと思いますか。【特に必要と思うもの3つまで○をつけて下さい】

- |  |   |
|--|---|
| ① お互いを理解しようとするコミュニケーションの推進               |   |
| ② 世代別の課題や、障がい等についての理解に役立つ市民講座や広報などでの啓発活動 |   |
| ③ 身近な地域でのサロン等の開催                         |   |
| ④ ご近所での助け合いの仕組みづくり                       |   |
| ⑤ 様々な地域課題ごとのボランティア活動の推進                  |   |
| ⑥ 困ったときに気軽に相談できる場の設置                     |   |
| ⑦ 世代間交流はじめ、多様な人々とのふれあう場づくり               |   |
| ⑧ 施設、公共交通や道路のバリアフリー化                     |   |
| ⑨ 人権についての理解を深める啓発活動                      |   |
| ⑩ 一人ひとりの健康増進のための取り組み                     |   |
| ⑪ わからない                                  |   |
| ⑫ その他〔                                   | 〕 |

選択肢	件数 (件)	割合 (%)
お互いを理解しようとするコミュニケーションの推進	562	47.2
困ったときに気軽に相談できる場の設置	539	45.3
ご近所での助け合いの仕組みづくり	429	36.1
世代間交流はじめ、多様な人々とのふれあう場づくり	255	21.4
一人ひとりの健康増進のための取り組み	190	16.0
施設、公共交通や道路のバリアフリー化	162	13.6
世代別の課題や、障がい等についての理解に役立つ市民講座や広報などでの啓発活動	157	13.2
身近な地域でのサロン等の開催	121	10.2
人権についての理解を深める啓発活動	81	6.8
様々な地域課題ごとのボランティア活動の推進	68	5.7
わからない	93	7.8
その他	24	2.0
無回答	30	2.5

※複数回答



[その他の記述内容] ※世代順

- 行政による福祉の制度による保障。(10 歳代・女性)
- 誰もが不公平無く生きる事が出来るような社会と、生活の不安を取り除き心の余裕を持てるようにする事。(20 歳代・男性)
- 土日祝関係なく子供が遊べる屋内施設。(20 歳代・女性)
- ふれあいの場だけでは参加したいと思わない。仕事場などにもっと積極的に外国人を採用してほしい。(30 歳代・女性)
- 秩序、ルールを守った上で、はじめてスタートラインと考える。(30 歳代・男性)
- 地域の風紀と安全が保たれるよう、知ってもらえる取り組み。(30 歳代・男性)
- 治安の維持。(30 歳代・女性)
- 全員が安心できるのは無理だと思う。(30 歳代・男性)
- 外人の方への暮らし方の案内や窓口。(30 歳代・男性)
- 地域の運動会など、活動を活発にやるのは、できるひとはいいが、障害をもつ親としては、線引きされているように、毎度感じています。広報にも、楽しそうに載っていて、いいよね、ルールが一回言われただけで、取り組めるから、すぐできるよね、と我が子に言われたことがあります。事前に、ルールや、競技の動画をみせてもらえたら、できたけど地域の方には、そこまでの合理的配慮という考えがないので、人数あわせに声を軽々しくかけないでほしい。より、専門の人に主催側が学んでから、行っていただきたい。(30 歳代・女性)
- 防犯（ビデオカメラ設置)。(40 歳代・男性)
- 世代間対立を生まない為の正しい情報の提供。(40 歳代・男性)
- 互いの事を理解していること。(50 歳代・男性)
- 静かに暮らしたい。(70 歳代・男性)
- 外国人は何でも自分よりレベル低いと思わなくてほしい。(70 歳代・女性)
- 特になし。(80 歳以上・男性)

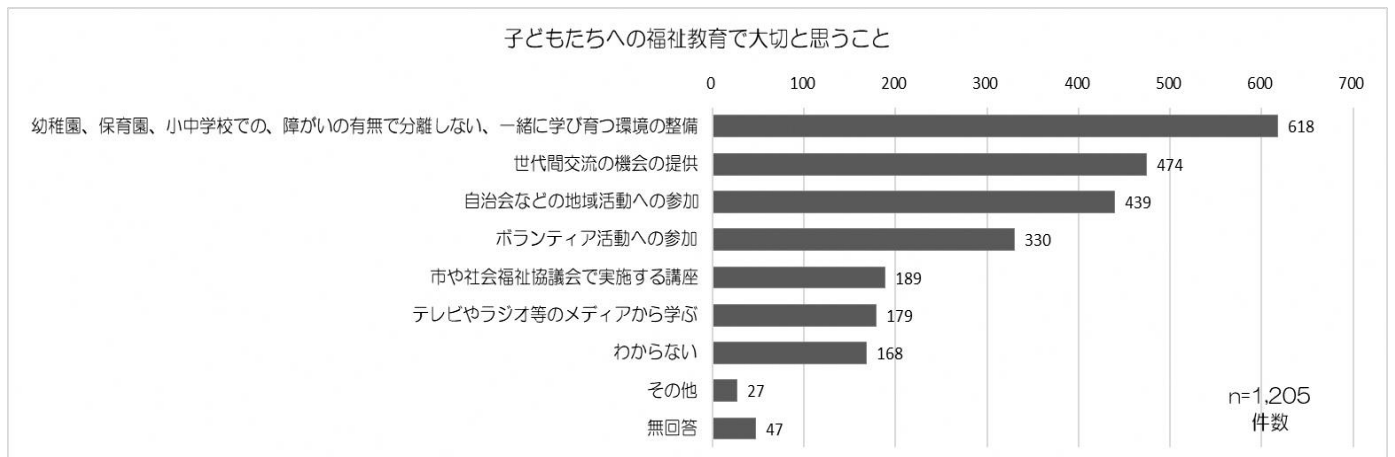
問 24. 子どもたちに対する福祉教育について、どのような取り組みが大切だと思いますか。  
【特に大切と思うもの3つまで○をつけて下さい】

- ① 幼稚園、保育園、小中学校での、障がいの有無で分離しない、一緒に学び育つ環境の整備
- ② 自治会などの地域活動への参加
- ③ 市や社会福祉協議会で実施する講座
- ④ テレビやラジオ等のメディアから学ぶ
- ⑤ ボランティア活動への参加
- ⑥ 世代間交流の機会の提供
- ⑦ わからない
- ⑧ その他〔 〕

n=1,205

選択肢	件数(件)	割合(%)
幼稚園、保育園、小中学校での、障がいの有無で分離しない、一緒に学び育つ環境の整備	618	51.3
世代間交流の機会の提供	474	39.3
自治会などの地域活動への参加	439	36.4
ボランティア活動への参加	330	27.4
市や社会福祉協議会で実施する講座	189	15.7
テレビやラジオ等のメディアから学ぶ	179	14.9
わからない	168	13.9
その他	27	2.2
無回答	47	3.9

※複数回答



[その他の記述内容] ※世代順

- 学校で福祉教育を十分に行う。(10 歳代・女性)
- 無理に障がい者の方を平等に扱おうとしないで欲しいです。それが偏見を生んでしまうこともあります。(10 歳代・女性)
- 学校教育にもっと福祉教育に関する時間を充実させる。教師に対しても教育が必要だと思う。(20 歳代・男性)
- 病院の整備。(30 歳代・女性)
- 障害児と健常者と一緒に教育するのはやめてほしい。不幸になる子供が増える。(30 歳代・女性)
- 必要なし。参加したい人だけが参加すればよい。(30 歳代・男性)
- 親へ価値基準を押し付け、子どもの成長を妨げたあげく、性格に難ある事があるため、学校は親に対して平等な立場でいてもらいたい。(30 歳代・男性)
- 閉園、閉校の有効活用および開放、施設利用。(30 歳代・男性)
- 日頃の交流。(30 歳代・女性)
- 身近にいる大人の振る舞いの影響が大きいと思うので、まず大人の振る舞いを見直すべき。(30 歳代・女性)
- 日常生活の中で自由に集まれる場所、公園整備など。(30 歳代・女性)
- 学校で、福祉制度の勉強。(30 歳代・男性)
- 介護、障害それぞれの専門家からの講話会などが一番わかりやすい。(30 歳代・女性)
- 分離するしなくてはなく、選ぶ権利を尊重できるしくみ。(40 歳代・女性)
- テレビ、ラジオ、新聞等のオールドメディアによる偏った情報だけでなく、地域の大人、子供の親も子供と共に学ぶ姿勢を持ち、自ら考える事。(40 歳代・男性)
- 高齢者や動物等とふれあえる場の提供。(40 歳代・女性)
- 小中学生が、医療、介護などの体験ができる取り組み。(50 歳代・女性)
- 道徳教育。(50 歳代・女性)
- 家庭、家族での教育。(50 歳代・女性)
- 全て大切と思う。(60 歳代・女性)
- 子供から大人まで安心して遊べる公園や施設。(60 歳代・男性)
- 子供達も少ない、高齢化が進む中、講座等に参加しにくい。(70 歳代・女性)
- 子どもいないからわからない。(70 歳代・男性)
- 常に挨拶をしたりし心の通いをしながら暮らす。(80 歳以上・女性)

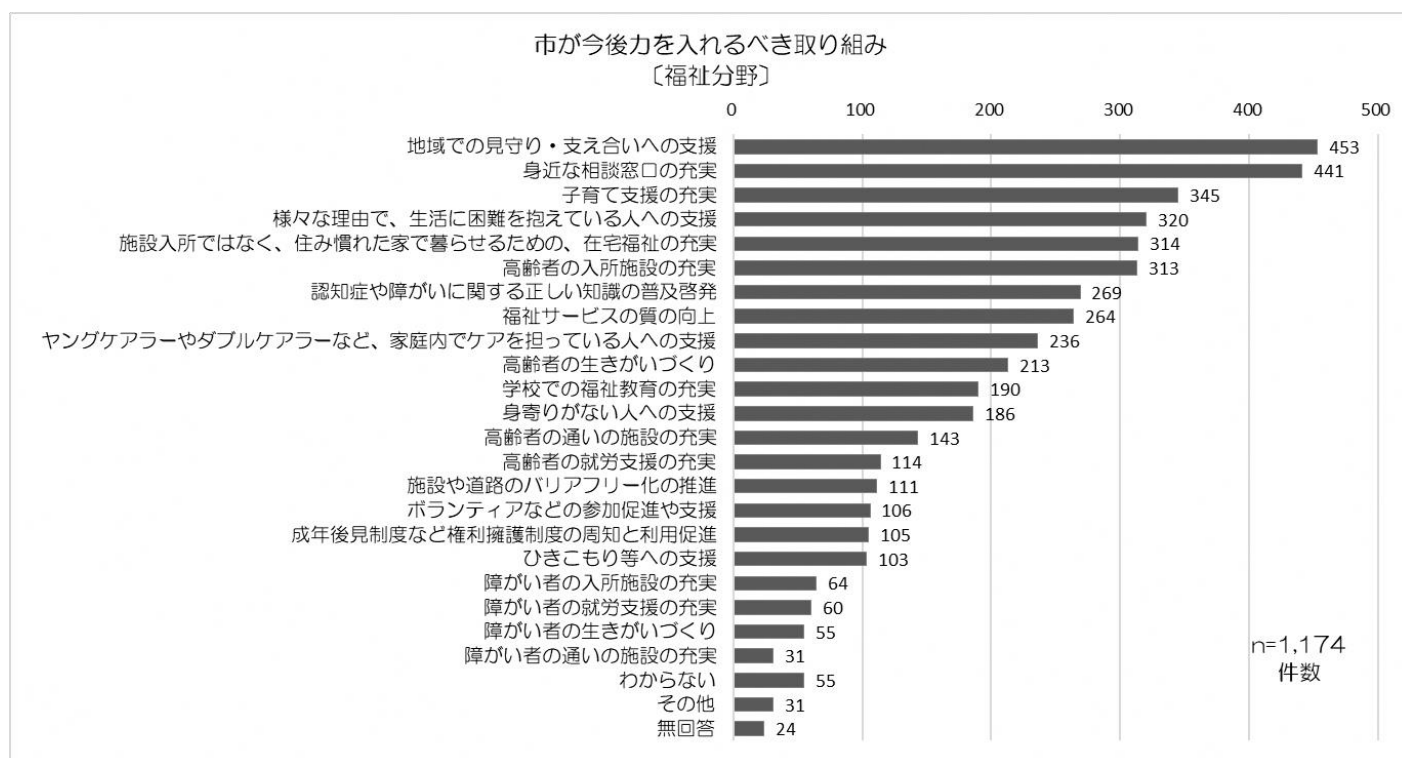
問 25. 奥州市は今後、福祉分野で、どのような取り組み（対策）に力を入れるべきだと思いますか。【特に思うもの 5 つまで○をつけて下さい】

- ① 地域での見守り・支え合いへの支援
- ② ボランティアなどの参加促進や支援
- ③ 認知症や障がいに関する正しい知識の普及啓発
- ④ 成年後見制度など権利擁護制度の周知と利用促進
- ⑤ 身近な相談窓口の充実
- ⑥ 施設入所ではなく、住み慣れた家で暮らせるための、在宅福祉の充実
- ⑦ 福祉サービスの質の向上
- ⑧ 高齢者の生きがいづくり
- ⑨ 障がい者の生きがいづくり
- ⑩ 高齢者の就労支援の充実
- ⑪ 障がい者の就労支援の充実
- ⑫ 高齢者の入所施設の充実
- ⑬ 障がい者の入所施設の充実
- ⑭ 高齢者の通いの施設の充実
- ⑮ 障がい者の通いの施設の充実
- ⑯ 子育て支援の充実
- ⑰ ひきこもり等への支援
- ⑱ ヤングケアラーやダブルケアラーなど、家庭内でケアを担っている人への支援
- ⑲ 様々な理由で、生活に困難を抱えている人への支援
- ⑳ 身寄りがない人への支援
- ㉑ 学校での福祉教育の充実
- ㉒ 施設や道路のバリアフリー化の推進
- ㉓ わからない
- ㉔ その他〔 〕

n=1,174

選択肢	件数 (件)	割合 (%)
地域での見守り・支え合いへの支援	453	38.6
身近な相談窓口の充実	441	37.6
子育て支援の充実	345	29.4
様々な理由で、生活に困難を抱えている人への支援	320	27.3
施設入所ではなく、住み慣れた家で暮らせるための、在宅福祉の充実	314	26.7
高齢者の入所施設の充実	313	26.7
認知症や障がいに関する正しい知識の普及啓発	269	22.9
福祉サービスの質の向上	264	22.5
ヤングケアラーやダブルケアラーなど、家庭内でケアを担っている人への支援	236	20.1
高齢者の生きがいづくり	213	18.1
学校での福祉教育の充実	190	16.2
身寄りがない人への支援	186	15.8
高齢者の通いの施設の充実	143	12.2
高齢者の就労支援の充実	114	9.7
施設や道路のバリアフリー化の推進	111	9.5
ボランティアなどの参加促進や支援	106	9.0
成年後見制度など権利擁護制度の周知と利用促進	105	8.9
ひきこもり等への支援	103	8.8
障がい者の入所施設の充実	64	5.5
障がい者の就労支援の充実	60	5.1
障がい者の生きがいづくり	55	4.7
障がい者の通いの施設の充実	31	2.6
わからない	55	4.7
その他	31	2.6
無回答	24	2.0

※複数回答



[その他の記述内容] ※世代順

- ・同居家族がいても、支援できると勝手に市が思い込んでいるが、現実には、支援できるわけでもない  
ので、同居人はカウントしないで、1人の人として支援してもらいたい。(20歳代・男性)
- ・市長自ら先頭に立って、行動で示す！何をどの順番でどのようにいつまでにやるかを明確に示し、  
できなければその理由を示してほしい。それを広報誌で広く市民に知らしめ、まずは興味関心を得  
るところから。(20歳代・男性)

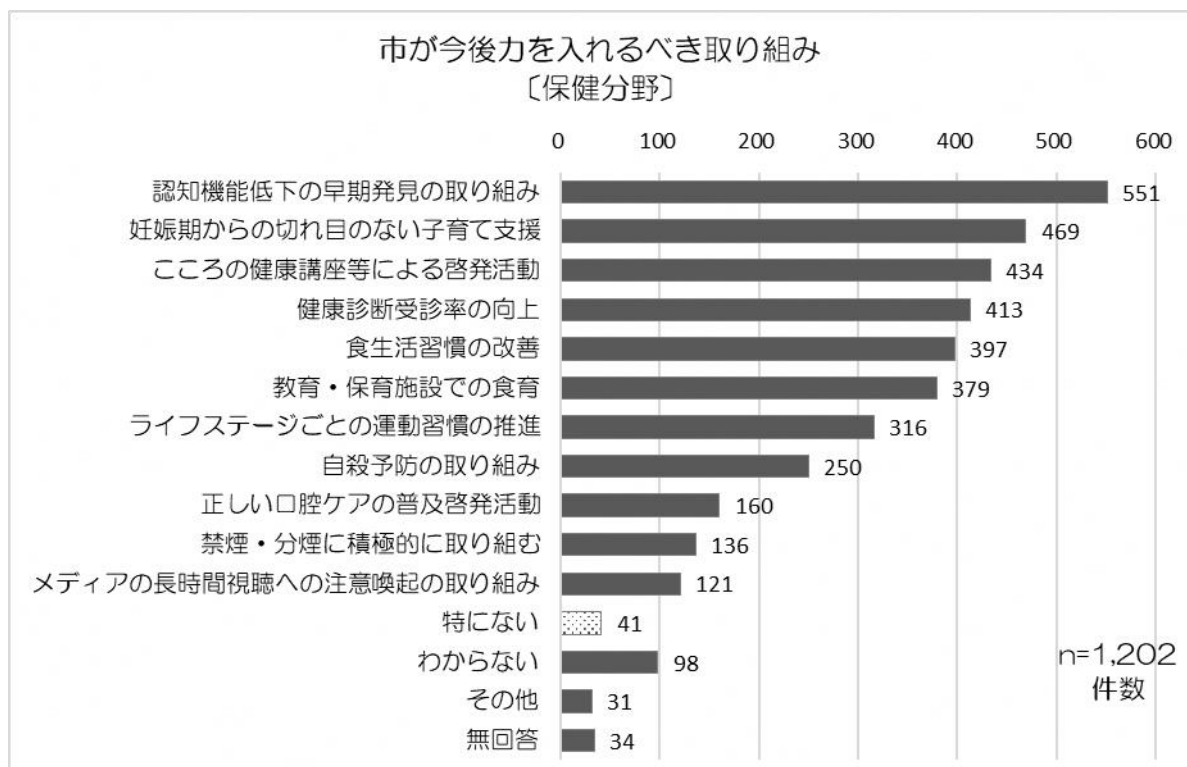
- とにかく子供が安心して暮らせる地域にしてほしい。(20 歳代・女性)
- 子供が安心して遊べる施設の充実。(20 歳代・女性)
- 低所得者層や生活困窮者への食糧支援。(20 歳代・男性)
- SOGI 知識の啓発と、当事者やそのアライが生活しやすい環境づくり。(20 歳代・女性)
- 働き方の多様性。リモートワーク完備が全くないので、遅れてると思う。(30 歳代・女性)
- 介護者への支援や相談窓口の充実。(30 歳代・男性)
- 高齢者支援の充実(一人暮らしの把握、安否確認、介護を要する方、その家族への支援(人、場))。  
(30 歳代・女性)
- ハード面の整備。集える場所の運営。(30 歳代・女性)
- 看取りを含めた在宅医療。(30 歳代・男性)
- どれも必要だと思う。が、高齢者にはすでに手厚いと感じます、これからの子供たちへ手厚く、可視化できる支援をのぞみます。障害児、者をそだてた経験をもつ、ペアレントメンターや、専門のところへ茶話会など開催してもらいたい。教科書や、マニュアルだけの人からでは、これからの見通しがほしい親からすると、すでに知っている話で終わるので、やめてもらいたい。(30 歳代・女性)
- 子育て世帯への金銭的支援(給食費、学費、医療費 etc.)。(40 歳代・女性)
- なるようにしかならない。(40 歳代・男性)
- 歩車分離した道路の整備。(40 歳代・女性)
- 車の免許返納後の交通手段の確保。(40 歳代・女性)
- 認知症の介護は大変です。すぐに施設に入れるようにしてほしい。待機時間はムリです。すぐに入所させてほしい。介護ムリ。(40 歳代・女性)
- 福祉サービスを支える業種への安易な外国人労働力の投入を避ける事。(40 歳代・男性)
- ひとり親への支援。(40 歳代・女性)
- 歯科への通院。(40 歳代・女性)
- 市役所職員の知識向上。(50 歳代・女性)
- 住居地域での就労支援。(50 歳代・女性)
- 障害児童への放課後支援。(50 歳代・女性)
- 実態に即した災害時の避難体制づくり。(50 歳代・男性)
- 細部まで全て行動、実行できる市のスタッフ数と財力の不足が不安です。(60 歳代・男性)
- 今の状態で、あと数年家で過ごすとして、雪かき、草刈り、買い物(免許返納したあと)、自分で出来なくなった時にどうするか。この様なところに対策がほしい。(60 歳代・女性)
- 私の知る限りでは、子供が他県(特に首都圏)へ出てゆき、高齢者のみの世帯が多い。高齢者への取り組みも良いが、若者が地元で働ける場作りが必要と思う。(60 歳代・男性)
- 1人1人の意識改革が必要。(70 歳代・女性)
- 何でも自分のことは自分で解決する。(70 歳代・女性)
- ⑰ひきこもり等への支援は、たとえば仕事の支援などを話し合う。(70 歳代・男性)
- 衣川で交通が非常にないこと。(80 歳以上・女性)
- やっぱ、普段の挨拶や笑顔での声かけ。(80 歳以上・女性)

問 26. 奥州市は今後、保健分野で、どのような取り組み（対策）に力を入れるべきだと思いますか。【特に思うもの5つまで○をつけて下さい】

- ① 食生活習慣の改善
- ② 教育・保育施設での食育
- ③ ライフステージ<sup>(※5)</sup>ごとの運動習慣の推進
- ④ メディアの長時間視聴への注意喚起の取り組み
- ⑤ 健康診断受診率の向上
- ⑥ こころの健康講座等による啓発活動
- ⑦ 自殺予防の取り組み
- ⑧ 正しい口腔ケアの普及啓発活動
- ⑨ 禁煙・分煙に積極的に取り組む
- ⑩ 妊娠期からの切れ目のない子育て支援
- ⑪ 認知機能低下の早期発見の取り組み
- ⑫ 特にない
- ⑬ わからない
- ⑭ その他〔 〕

	n=1, 202	
選択肢	件数（件）	割合（％）
認知機能低下の早期発見の取り組み	551	45.8
妊娠期からの切れ目のない子育て支援	469	39.0
こころの健康講座等による啓発活動	434	36.1
健康診断受診率の向上	413	34.4
食生活習慣の改善	397	33.0
教育・保育施設での食育	379	31.5
ライフステージごとの運動習慣の推進	316	26.3
自殺予防の取り組み	250	20.8
正しい口腔ケアの普及啓発活動	160	13.3
禁煙・分煙に積極的に取り組む	136	11.3
メディアの長時間視聴への注意喚起の取り組み	121	10.1
特にない	41	3.4
わからない	98	8.2
その他	31	2.6
無回答	34	2.8

※複数回答



[その他の記述内容] ※世代順

- ・産婦人科。(20歳代・女性)
- ・学生等の薬物使用の調査、北上市で大麻使用の学生が逮捕されたが、これは恐ろしい事だ、今すぐにやらなければ確実に広がってくるだろう、そうなれば行政の怠慢だ。(20歳代・男性)
- ・若い世代が安心して子供を産める環境作り。(20歳代・男性)
- ・熱が37.5以上あるとすぐに迎えの連絡があるなど、同じ奥州市内でも幼稚園、保育園ごとに異なる。次の日も熱がないのに休ませなければならないなど、厳しすぎる。(20歳代・女性)
- ・奥州市内で子供を産める産院の設立。(20歳代・女性)
- ・口の健康が体の基本なので、高校生まで歯科矯正の助成金がほしい。(30歳代・女性)
- ・人口減少による戦略的縮小。(30歳代・男性)
- ・この土地で子供を産み育てたいという希望が叶えばいいなと切に思う。(30歳代・女性)
- ・「⑪認知機能低下の早期発見の取り組み」を健康診断の項目に追加を。(40歳代・女性)
- ・子供達の健康診断の充実(人間ドックに近いような)。(40歳代・女性)
- ・産婦人科の充実。(40歳代・女性)
- ・フレイル対策。(40歳代・女性)
- ・医療費削減につながるような、中高年齢者への運動指導など。(50歳代・女性)
- ・一人世帯へのフォロー。(50歳代・男性)
- ・市役所職員の知識。(50歳代・女性)
- ・ギャンブルなどの依存症対策、および相談窓口。(50歳代・男性)
- ・保健分野の相談窓口。(50歳代・女性)

- 子育て支援。これから結婚、妊娠、子育てする世代にとって満足な安心して出産できる病院が必要。現在、新居の場所も奥州市以外を考える人達も増えていると思います。学校が近いだけではダメで、産婦人科や小児科が奥州市に必要です。早く実現する事願います。(50 歳代・女性)
- 薬物乱用防止教育。(50 歳代・男性)
- 带状疱疹ワクチンへの補助が他の地域より遅すぎる。(50 歳以上が多いのが現状、一度市に電話すると 65 歳といわれた) また助成金が安すぎる。他の地域並みに力を入れるべきでは…と思う。(60 歳代・女性)
- 健康についての教養等の集り、勉強会、チラシ等。(60 歳代・男性)
- 飲酒の良い点悪い点をお知らせ、その改善方法。(60 歳代・女性)
- ペットを飼っている方(特に犬)は、朝夕の犬の散歩等を行い元気である様です。ペットを飼いたいと思うようなイベント等を行っては。(60 歳代・男性)
- 食事配達サービス。(70 歳代・男性)
- 交通手段がありますか?何もないと聞いてますが。(80 歳以上・女性)
- 空き地だからと、すぐにごみ、缶を投げ捨てたりしない心がけを大事にする。(80 歳以上・女性)
- 特に運動する、身体を作る、歩行予防の運動の推進。(80 歳以上・女性)

問 27. 誰もが安心して暮らせる奥州市にしていくために、ご意見やアイデアなどありましたら、ご自由にご記入下さい。

\*自由記述：274 件

\*自由記述率：22.7%

※回答内容については、「結果の要旨」(7頁～10頁)をご覧ください。

## Ⅲ. 巻末資料

### 1. アンケート調査ご協力のお願い文書

#### 第4期奥州市地域福祉計画策定のための アンケート調査ご協力のお願い

市民のみなさまには、日頃より市の様々な取り組みにご協力いただき、厚く御礼申し上げます。今年度奥州市では、令和8年度から始まる第4期地域福祉計画の策定に取り組んでいます。

地域福祉計画は、市民のみなさまが、日常生活を安心・安全で、自分らしく暮らせる地域づくりのための、今後5年間の方向性を示すものです。

そこで、計画の検討にあたって、みなさまが日頃感じていることなどご意見をいただき、より良い計画としていきたいと考えております。

下記の調査概要をご確認の上、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、回答方法につきましては、返信用封筒に入れて返送または、オンライン上でご回答いただくかのどちらかをお選びください。

#### 記

1. 調査の目的：市民のみなさまの、福祉サービス等に関するニーズや地域課題と感じている事等を把握することを目的とします。
2. 調査対象：18歳以上の市民3,000人を対象とします。
3. 調査方法：調査票を郵送し、以下の①・②どちらか1つの方法による回答とします。
  - ① 同封の返信用封筒に入れて返送（切手不要・差出人名記入不要）
  - ② 右のQRコードまたは下のURLからオンライン上で回答  
アンケート回答フォーム  
<https://forms.gle/3c4jkgPZhvQRIRZo8>
4. 回答〆切日：令和7年7月15日（火）※消印有効/オンライン回答は同日24時までとなります。



#### 個人情報について

本アンケートは、住民基本台帳に基づきランダムに抽出された住所氏名から、封筒の宛名ラベルを印刷しております。抽出された住所氏名は、宛名ラベル印刷にのみ利用し、その後データは削除されます。

また、回答も匿名となっているため、個人が特定されることはありません。

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

奥州市 福祉部 福祉課 地域福祉係  
〒023-8501 奥州市水沢大手町一丁目1番地  
TEL：0197-34-2324





## Ⅱ. お住まいの地区（ご近所）についておうかがいします

問 6. 今お住まいの地区（ご近所）は、暮らしやすい地区だと思いますか。【〇は 1 つだけ】

- ① とても暮らしやすい      ② まあまあ暮らしやすい      ③ どちらともいえない
- ④ どちらかという暮らしにくい      ⑤ 暮らしにくい

問 7. 今お住まいの地区（ご近所）の良いと感じていることを教えてください。【〇は 3 つまで】

- ① 地区の住民同士のあいさつや声かけがある
- ② 地区の活動が活発に行われている
- ③ 穏やかな雰囲気を保っている
- ④ ゴミなどが落ちていなくてきれい、清潔感がある
- ⑤ 落ち着いたまち並みが維持されている
- ⑥ 銀行や商店、病院などへ行きやすい（便利な立地）
- ⑦ 交通の便が良い
- ⑧ 特に感じていることはない
- ⑨ その他 [ ]

問 8. あなたは、日頃、ご近所とどの程度のお付き合いがありますか。【〇は 1 つだけ】

- ① 簡単な頼みごと程度なら相談できる
- ② 世間話や立ち話をする
- ③ 顔を合わせれば挨拶をする
- ④ ほとんど付き合いはない
- ⑤ その他 [ ]

問9. あなたは、地域のどのような活動に参加していますか（または過去に参加したことがありますか）。【参加している、または参加したことがあるもの全てに○をつけて下さい】

- ① 清掃活動
- ② 祭り
- ③ 運動会、スポーツ大会
- ④ 資源回収（リサイクル活動）
- ⑤ 小中学校関係行事
- ⑥ 老人クラブの活動
- ⑦ 自治会・町内会行事
- ⑧ 健康づくりの活動（健康教室、いきいきサロンなど）
- ⑨ 交通安全活動
- ⑩ 防災の取り組み
- ⑪ 消防活動
- ⑫ 参加したことがない→ 問10へ
- ⑬ その他〔 〕

問10. 問9で「⑦ 参加したことがない」と回答した方のみお答えください。

参加していない理由は何ですか。【あてはまるもの全てに○をつけて下さい】

- ① 仕事や家事で忙しいから
- ② 体力的に参加が難しいから
- ③ 自分の趣味や余暇活動で参加する時間がないから
- ④ 育児や介護が必要な家族がいるから
- ⑤ 活動内容や参加する方法がわからないから
- ⑥ 一緒に暮らしている家族が参加しているから
- ⑦ 地域に関わりたくないから
- ⑧ その他〔 〕

問 11. あなたの身近に困っている方がいる場合、あなたにできることはありますか。

【できると思うもの全てに○をつけて下さい】

- ① 見守りや声かけ
- ② 話し相手
- ③ 買い物の手伝い
- ④ ゴミ出し
- ⑤ ちょっとした手伝い（電球の交換や灯油の運搬など）
- ⑥ 草取りや庭の掃除
- ⑦ 玄関前など家の周りの除雪
- ⑧ 学校や保育園等への送り迎え
- ⑨ 災害などの緊急時の手助け（安否確認、避難所への誘導など）
- ⑩ できることはない
- ⑪ その他〔

〕

問 12. 住み慣れた地域で、みんなが安心して暮らすためには、どのような活動があったら良いと思いますか。【あったら良いと思うもの3つまで○をつけて下さい】

- ① 声かけやあいさつ
- ② 見守りや安否確認
- ③ サロン活動（高齢者の生きがいづくり、健康づくり、子育て支援活動など）
- ④ 子ども食堂や地域食堂
- ⑤ 高齢者や障がいのある人などへの身の回りの手伝い
- ⑥ 子どもの預かりや子育ての相談
- ⑦ 障がいのある人もない人も、どんな世代の人も参加できるイベント
- ⑧ 災害時の避難誘導や助け合い等の事前準備
- ⑨ 防犯の取り組み
- ⑩ 防災活動
- ⑪ その他〔

〕



問 14. 問 13 で「⑧ 参加したことはない」と回答した方のみお答えください。

参加したことがない理由は何ですか。【あてはまるもの 3 つまで選んでください】

- ① 仕事や家事で忙しいから
- ② 体力的に参加が難しいから
- ③ 自分の趣味や余暇活動で参加する時間がないから
- ④ 育児や介護が必要な家族がいるから
- ⑤ 活動内容や参加する方法がわからないから
- ⑥ 興味・関心がないから
- ⑦ その他〔 〕

問 15. 全ての方のうちがいます。ボランティア活動について、あなたのお気持ちに最も近いものを 1 つお選びください。

- ① 日頃から何かしらのボランティア活動に参加したいと思う
- ② 夏休みやゴールデンウィークなどの連休に、単発でできる活動があれば参加してみたいと思う
- ③ 災害時などの非常事態に、できることがあれば参加したいと思う
- ④ 直接活動には参加出来ないが、物資の寄付や募金等の形で参加したいと思う
- ⑤ 参加したい気持ちはあるが、現状参加出来る状況にはない
- ⑥ ボランティア活動に参加したいとは思わない
- ⑦ よくわからない
- ⑧ その他〔 〕

#### Ⅳ. 暮らしの中の不安や相談について

問 16. あなたは、日常生活の中での困りごとを、誰に（どこに）相談していますか。

【あてはまるもの全てに○をつけて下さい】

- ① 家族や親類
- ② 近所の人や町内会の役員
- ③ 友だちや知り合い
- ④ 職場の上司や仲間
- ⑤ 民生委員・児童委員
- ⑥ 市役所など公的機関の相談窓口
- ⑦ 社会福祉協議会
- ⑧ ご近所福祉スタッフ
- ⑨ 現在利用している保健福祉サービス等事業所の職員
- ⑩ いのちの電話などの電話やメール等による相談窓口
- ⑪ 相談できる人や機関はない
- ⑫ その他〔 〕

問 17. あなたは、福祉についての情報や知識をどのようにして得ていますか。

【よく利用するもの 3 つまで○をつけて下さい】

- ① 市の広報紙
- ② 社会福祉協議会などの広報紙
- ③ 市や社会福祉協議会などのパンフレットやチラシ
- ④ インターネットや SNS (※1)
- ⑤ 新聞、テレビ、ラジオなど
- ⑥ 民生委員・児童委員
- ⑦ 自治会などの掲示板や回覧板
- ⑧ 家族や親類
- ⑨ 友だちや知り合い
- ⑩ ケアマネージャーやヘルパーなどの専門職
- ⑪ その他〔 〕

(※1) SNS とは、**Social Networking Service** (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) のこと。代表的なものに、LINE、YouTube、X (旧 Twitter)、Instagram、Facebook などがあります。

問 18. あなたは、民生委員・児童委員 (※2) の仕事をご存じですか。【1 つに○】

- ① 知っている
- ② 名前だけは聞いた事があるが仕事の内容は知らない
- ③ 知らない

(※2) 民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱され、地域住民の心配ごとなどの相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めるとともに、あわせて、地域の子供たちを見守り、子育てに関する不安への相談・支援等を行います。

問 19. あなたは、あなたの地区の担当民生委員・児童委員をご存じですか。【1 つに○】

- ① 知っている
- ② 知らない

問 20. あなたが、安心して暮らしていくために重要だと思うことは何ですか。

【お気持ちに近いものを上位 3 つまでお選び下さい。】

- ① 困ったときに相談できる相手や場所がある
- ② 隣近所あいさつを交わし、普段からお互いを知ってもらえている
- ③ 近くに気軽に立ち寄れる場所がある
- ④ 秩序が保たれている（ルールが守られている）
- ⑤ 地区内の活動が活発
- ⑥ 子育てしやすい
- ⑦ 高齢者にやさしい
- ⑧ 障がい者にやさしい
- ⑨ 交通の便が良い
- ⑩ 街灯が整備されている
- ⑪ 施設や道路のバリアフリー化がなされている
- ⑫ わからない
- ⑬ その他 [ ]

## V. 防災活動について

問 21. 地震や風水害などが発生したとき、心配なことはありますか。【あてはまるもの全てに○】

- ① 避難が必要かの判断ができるか不安
- ② 介助が必要な家族がいるので、避難が困難
- ③ 自分が一人では避難が難しい
- ④ 避難が必要なおとき、どこに避難すれば良いかわからない
- ⑤ ペットを飼っているので、ペットが心配
- ⑥ 心配なことはとくにない
- ⑦ その他〔 〕

問 22. 地震や風水害が発生したとき、その被害を広めないために地域で日頃から取り組んでおくこととして、あなたができることは何ですか。【あてはまるもの全てに○】

- ① 防災訓練、避難訓練への参加
- ② 災害時要援護者<sup>(※3)</sup>との、顔の見える関係づくり
- ③ 災害時要援護者の個別支援計画への参加
- ④ 地域での防災マップづくり
- ⑤ 災害ボランティア養成講座等への参加
- ⑥ 自主防災組織への参加
- ⑦ 非常用袋の準備（食料等のローリングストック<sup>(※4)</sup>含む）
- ⑧ できることは特にない
- ⑨ わからない
- ⑩ その他〔 〕

(※3)「災害時要援護者」とは、高齢者や障害者、乳幼児、傷病者、外国人等、災害時に自力で避難することが困難であり、なんらかの手助けが必要な人をいいます。

(※4)「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

## Ⅵ. だれもが安心して暮らせる地域（共生社会）であるために

問 23. 子どもも高齢者も、障がいがあってもなくても、子育て中でも病気になっても、国籍が異なっても、だれもが安心して暮らせる地域であるために、どのような取り組みが必要だと思いますか。【特に必要と思うもの3つまで○をつけて下さい】

- ① お互いを理解しようとするコミュニケーションの推進
- ② 世代別の課題や、障がい等についての理解に役立つ市民講座や広報などでの啓発活動
- ③ 身近な地域でのサロン等の開催
- ④ ご近所での助け合いの仕組みづくり
- ⑤ 様々な地域課題ごとのボランティア活動の推進
- ⑥ 困ったときに気軽に相談できる場の設置
- ⑦ 世代間交流はじめ、多様な人々とのふれあう場づくり
- ⑧ 施設、公共交通や道路のバリアフリー化
- ⑨ 人権についての理解を深める啓発活動
- ⑩ 一人ひとりの健康増進のための取り組み
- ⑪ わからない
- ⑫ その他〔 〕

問 24. 子どもたちに対する福祉教育について、どのような取り組みが大切だと思いますか。【特に大切と思うもの3つまで○をつけて下さい】

- ① 幼稚園、保育園、小中学校での、障がいの有無で分離しない、一緒に学び育つ環境の整備
- ② 自治会などの地域活動への参加
- ③ 市や社会福祉協議会で実施する講座
- ④ テレビやラジオ等のメディアから学ぶ
- ⑤ ボランティア活動への参加
- ⑥ 世代間交流の機会の提供
- ⑦ わからない
- ⑧ その他〔 〕

問 25. 奥州市は今後、福祉分野で、どのような取り組み（対策）に力を入れるべきだと思いますか。

【特に思うもの5つまで○をつけて下さい】

- ① 地域での見守り・支え合いへの支援
- ② ボランティアなどの参加促進や支援
- ③ 認知症や障がいに関する正しい知識の普及啓発
- ④ 成年後見制度など権利擁護制度の周知と利用促進
- ⑤ 身近な相談窓口の充実
- ⑥ 施設入所ではなく、住み慣れた家で暮らせるための、在宅福祉の充実
- ⑦ 福祉サービスの質の向上
- ⑧ 高齢者の生きがいづくり
- ⑨ 障がい者の生きがいづくり
- ⑩ 高齢者の就労支援の充実
- ⑪ 障がい者の就労支援の充実
- ⑫ 高齢者の入所施設の充実
- ⑬ 障がい者の入所施設の充実
- ⑭ 高齢者の通いの施設の充実
- ⑮ 障がい者の通いの施設の充実
- ⑯ 子育て支援の充実
- ⑰ ひきこもり等への支援
- ⑱ ヤングケアラーやダブルケアラーなど、家庭内でケアを担っている人への支援
- ⑲ 様々な理由で、生活に困難を抱えている人への支援
- ⑳ 身寄りがない人への支援
- ㉑ 学校での福祉教育の充実
- ㉒ 施設や道路のバリアフリー化の推進
- ㉓ わからない
- ㉔ その他〔 〕

問 26. 奥州市は今後、保健分野で、どのような取り組み（対策）に力を入れるべきだと思いますか。

【特に思うもの5つまで○をつけて下さい】

- ① 食生活習慣の改善
- ② 教育・保育施設での食育
- ③ ライフステージ<sup>(※5)</sup>ごとの運動習慣の推進
- ④ メディアの長時間視聴への注意喚起の取り組み
- ⑤ 健康診断受診率の向上
- ⑥ こころの健康講座等による啓発活動
- ⑦ 自殺予防の取り組み
- ⑧ 正しい口腔ケアの普及啓発活動
- ⑨ 禁煙・分煙に積極的に取り組む
- ⑩ 妊娠期からの切れ目のない子育て支援
- ⑪ 認知機能低下の早期発見の取り組み
- ⑫ 特にない
- ⑬ わからない
- ⑭ その他〔〕

(※5)「ライフステージ (life stage)」とは、人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などの、それぞれの段階。家族については新婚期・育児期・教育期・子独立期・老夫婦期などに分けられる。 出典：小学館「デジタル大辞泉」

問 27. 誰もが安心して暮らせる奥州市にしていくために、ご意見やアイデアなどありましたら、  
ご自由にご記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました！